

すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



くじを買うはエールになる



JIGRA NEWS

No. 55
2024.10

公益社団法人
全日本ゴルフ練習場連盟 会報誌
JAPAN GOLFRANGE ASSOCIATION



本会報誌はスポーツ振興くじ助成金を受けて制作されたものです

特集 1

保存版 / インドアゴルフの往古来々
ゴルフを取り巻く時代変化から見る
インドアゴルフの新たな
フェイズ2024

- 韓国 (インドア) ゴルフ視察レポート
広報委員長 / 板垣 庄司 氏
- インドア&アウトドア
ハイブリッド運営インタビュー
井高野ゴルフセンター / 春取 吉美さん
ウインズFAMILY GOLF / 中村 高澄さん

特集 2

JGRA事業推進委員会 インドア特別部会の発足 [座談会]



期間限定
会員募集中



■ 資格認定講座 / 受講者インタビュー (桜宮ゴルフクラブ)

■ 2023年度 表彰制度受賞発表

■ JGRA 活動報告 ■ Women's Golf Now [上期] 開催報告 ■ 女性部会発足 ■ 「ゴルフ練習場の日」開催のお知らせ
■ 各ブロック研修会実績表 ■ 景況報告 ■ 総会報告 ■ ジュニア活動報告 ■ JGRAブロック情報



最新の技術と設備から生まれる ダンロップレンジボール。

その性能は多くの練習場様にご好評いただいております。

High Quality & High Technology
 ご要望にお応えする多彩なラインナップ

ツーピースボール

ワンピースボール

DDH SP SOFT

よりソフトなツーピース
 ネットまでの距離が長くよりソフトな打感を重視する大型練習場に

DDHエフェル

水に浮くフロートタイプのツーピース
 水上練習場ややわらかいボールを好む練習場に

DDHソフト420

フィーリング重視のツーピース
 ネットまでの距離が長くフィーリングにこだわる大型練習場に

ディスタンス

420ディンプル/350ディンプル
優れた飛距離とソフトフィーリングのワンピース
 飛びを重視する大型練習場に

スタンダードSF

スタンダードタイプのソフトワンピース
 室内から大型練習場まで幅広く

ソフト

非常にソフトで飛距離を抑制したワンピース
 ネットまでの距離が短い練習場に

低弾道

弾道と飛距離を抑制したワンピース
 ネットからの飛び出しを心配される練習場に

170▶
180▶
190▶
200▶
キャリア(ヤード)

※注:ゴルフ規則(ルール)上は、両面にボールマーク(品名)を入れた場合のみR&A公認球となります。 ※飛距離(キャリア)は、無風状態の時にヘッドスピード40m/sでドライバーで打撃した場合のデータです。

ゴルフ練習場経営情報システム「ZENTES クラウド」

時代を継承し練習場文化を創造するリノベーション
 現状把握から将来の予測までを可能とした進化する ZENTES CLOUD
 もっとお客様に楽しんで頂くために

ダンロップレンジボールの特長

- 抜群の耐久性

ダンロップレンジボールの真価はその耐久性にあります。カット、繰り返し打撃に対して強く、また、独自のペイントがハードな打撃や洗浄から美しい外観を守り続けます。
- 高い均一性

ダンロップレンジボールは、原材料の受け入れから製品出荷まで、優れた管理体制のもとで生産されていますので、品質と性能のパラッキが少なく、高い均一性を誇っています。
- 心地よい打球感

ナイスショットのフィーリングは、ゴルフの醍醐味です。ダンロップレンジボールは、ラウンドボールに近い打球感を持っています。心地よいインパクト感と響きわたる打球音が、お客様に好評です。
- 美しい外観

ラウンドボールと同様のきれいな外観が長期間持続します。
- 高度な弾道設計技術

ダンロップは、様々な使用状況をシミュレーションし、レンジボール用ディンプルを設計しています。ラウンドボールに近い弾道のボールを中心に、弾道を低く抑えたボールまで、あらゆるニーズに対応できるバリエーションを揃えております。
- ※マーキングデザイン：

お客様のニーズに最新技術でお応えします。マークのデザインによってはスタンプできない場合もありますので、あらかじめ販売代理店にご相談ください。

インターネット情報 ●商品に関して <http://golf.dunlop.co.jp/> ●トーナメント等に関して <http://golfpark.jp/>
 株式会社ダンロップスポーツマーケティング ©商品のお問い合わせ 0120-65-3045

株式会社 **オニット**

特定建設業 建築工事業 鋼構造工事業/東京都知事 許可(特-30)第141079号
 一般建設業 大工工事業 内装仕上工事 とび土工事業/東京都知事 許可(般-30)第141079号

本社 〒158-0095 東京都世田谷区瀬田3丁目5番14号
 TEL 03-5797-5086 FAX 03-3707-8464
 支店 〒488-0033 愛知県尾張旭市東本地ヶ原町4丁目119番
 TEL 0561-54-9971 FAX 0561-54-6588

おかげさまで54周年

草分けとしての使命をー

- コロナ禍を経て健康志向からゴルファーが大幅に増加
- 2020年以降、4年半で全国平均相場は約30%の上昇
- リゾート人気で相場の伸び北海道・沖縄まで全国に広がる



佐川 八重子

会員権のご相談は……

売買営業部 03-3572-8511
 募集事業部 03-3572-8513
<https://www.sakuragolf.co.jp/>

WEBは
こちらから



株式会社 桜ゴルフ
 本社 東京都中央区銀座 5-9-1 四丁目交差点から1分
 銀座本店 伊勢丹新宿店

MERIT ケーディータワーシステム 5つのメリット

- 1 ボール間隔が拡大され本数を低減
資材・建設コストの大幅削減
- 2 耐候性鋼材はメンテナンス一切不要
維持コスト低減
- 3 ボール高さ60m施工可能
安心を約束する高さで強さ
- 4 高さ60mで3階打席増設可能
経営効率アップ
- 5 基礎の省スペース施工により
敷地の有効活用

KD ケーデースポーツ株式会社
 ハードとソフトの融合。トータルケアで未来をカタチに。
 建設業許可番号都知事許可第72223号 建築士許可番号都知事登録第37356号
 〒164-0012 東京都中野区本町6-25-3
 TEL.03(3382)4441(代) FAX.03(3380)7234

ケーディータワーシステム

総合設計施工からリニューアル、さらにメンテナンスまで、
 蓄積されたノウハウで「CHANGE THE RANGE!」を実現します
 施工実績などの詳細はKD Web Siteをご覧ください。【URL】<http://www.kdsports.co.jp>



100%



指定鉄塔ネット保険代理店

加入練習場

会長 千歳ゴルフセンター
 副会長 桜宮ゴルフクラブ
 理事 井高野ゴルフセンター

大和エンジニアリング株式会社
 損害サービス対応窓口

全日本ゴルフ練習場連盟特別協力企業

本社 東京都小金井市貫井南町4-30-26
 TEL 042-385-0660 FAX 042-384-7822
<http://www.yamatoeng.co.jp>

他 北海道ブロック 東北ブロック
 関東ブロック 関西ブロック

(東京海上日動火災保険株式会社)

ごあいさつ

皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より当連盟の活動にご協力、ご理解賜り厚く御礼申し上げます。

2024年度は、中部ゴルフ練習場連盟が完全復帰し、関東ブロックの神奈川県ゴルフ練習場協会加盟の全練習場がご入会をいただき、正会員総数を全595場でスタートすることが出来ました。また現在は、期間限定正会員キャンペーンも実施しておりますので、これを含めると625場の組織となりました。

これらのことは、各地域連盟の理事、そして関係者の皆さまの努力、ご尽力のおかげと深く感謝致しております。特に中部ゴルフ練習場連盟は、十数年前の退会からの完全復帰という事で非常に感慨深く、大変うれし限りでございます。

さて、今回のJGRA NEWS No.55では、「インドアゴルフ施設」を特集しています。JGRAは、連盟を構成いただく会員施設のうち約500場がアウトドア施設です。これまでは、必然的にアウトドア施設を中心とした話題展開となっております。ただし、近年は、シミュレーターや距離計測器などのデジタル技術の進化、SNSとの親和性の高さ、都市部の過密化などの様々な要因が重なり合い、コロナ禍を契機にインドア施設も急激に増え続けております。そして、現在ではゴルフ練習のための選択肢として定着し、むしろエリアによってはインドア施設の方が身近な存在になりつつもあります。現在JGRAには約110場のインドア施設が会員としてご入会いただいておりますが、こちらも「ゴルフの普及・ゴルファーの創造」には欠かすことの出来ない重要な仲間であると認識しております。

今号では、この仲間についての情報を今一度整理しました。これは、多くのアウトドア施設の皆さまにも、インドア市場の現在を知っていただき、相互の理解を深めていただきたいという想いからです。また、記事中でご紹介いたします「インドアゴルフ特別部会」を発足させていただきました。形態は違えども目指す方向は同じはず。今後のゴルフ業界にとっても、インドアとアウトドアが手を取り合って協力していく環境を整えたいと考えております。

最後になりますが、暑く長かった夏に心身ともにお疲れのことと存じます。時節柄、皆様、体調など崩されることのないよう、どうぞご自愛いただき、引き続きご活躍くださいますようお願い申し上げます。

JGRA JAPAN GOLFRANGE ASSOCIATION
 公益社団法人 全日本ゴルフ練習場連盟
 会長 横山 雅也

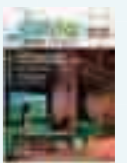


INDEX

2024.10
No.55

■ 会長挨拶5	■ 2023年度(第17回)「表彰制度」結果発表24
<ul style="list-style-type: none"> <特集1> 保存版/インドアゴルフ施設の往古来今 ゴルフを取り巻く時代変化から見る インドアゴルフの新たなフェイズ20246 	<ul style="list-style-type: none"> <経営部門/最優秀賞>--- 青谷ゴルフガーデン(大阪府) <経営部門/優秀賞>----- フラッグスゴルフスクール(埼玉県) <サービス部門/優秀賞>--- 桜宮ゴルフクラブ(大阪府) <維持管理部門/優秀賞>--- 井高野ゴルフセンター(大阪府) 第17回/JGRA表彰制度エントリー案件
■ 2024.4 韓国視察レポート14	■ 「11月3日(祝)はゴルフの練習場の日」26
<ul style="list-style-type: none"> <JGRA広報委員長/板垣 庄司氏> 	参加募集のお知らせ
■ インドア・アウトドアハイブリッド運営者インタビュー	■ 会員募集・期間限定正会員のお知らせ27
<ul style="list-style-type: none"> ・ dx golf24(大阪市) 代表取締役/春原 吉美さん16 ・ ウィンズFAMILY GOLF(新座市) 副支配人/中村 浩通さん18 	■ JGRA活動報告
<特集2>	<ul style="list-style-type: none"> ・各ブロック研修会実績表28 ・景況報告/関西・関東30 ・2023年通常総会報告(札幌)・組織図32
■ 「インドアゴルフ特別部会」発足&座談会20	■ JGRAジュニア情報34
<ul style="list-style-type: none"> ゴルフアール高田馬場(株) ディオントーキー 代表取締役/田中 聡氏 ZENGOLF:ツリーベル(株) 経営企画室/永井 潤一郎氏・桜井 義久氏 (株) オールデイゴルフ 代表取締役/小野木 幸雄氏 (JGRA) / 横山会長・北岡副会長・新井専務理事・橋本常任理事・重間事業推進委員長 	<ul style="list-style-type: none"> ・トーナメント最終日にジュニアゴルファー検定会を開催 <プリジストン女子オープン> <ニチレイレディース>
JGRAゴルフフレンジプロデューサー	■ 公益活動報告36
■ 資格認定講座/受講者インタビュー22	■ ブロック情報/編集後記37
<ul style="list-style-type: none"> 受講者/桜宮ゴルフクラブ 副支配人/浜谷 晶子さん 	
■ WOMEN'S GOLF NOW / [上期] 開催報告23	
■ インドア女性部会からのご報告23	

<表紙> インドア特集記事でご紹介のウィンズFAMILY GOLF様の店内風景。本誌掲載にあたり取材・素材提供にご協力を頂きました関係者の皆様に御礼申し上げます。



■発行日:2024年10月1日 ■発行人:横山 雅也 ■編集・発行所:公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟/東京都渋谷区神宮前1-17-5 原宿シュロス303号/電話:03-5772-3821(代表) FAX:03-5772-3822 【ホームページ】<http://www.jgra.or.jp> ■制作・デザイン:オフィス・サカイ ■表紙Design:Office Sakai

※本会報誌は、スポーツ振興くじ助成金を受けて制作されたものです。



ゴルフを取り巻く時代変化から見る

インドアゴルフの新たなフェイズ 2024

ゴルフ練習場業界は、コロナ禍に、多くの老若男女のゴルファーが来場し、打席待ちが出来るほどのバブルに沸いたが、現在はコロナ前の市況に戻りつつある。その様な中で、増加傾向を維持しているのがインドアゴルフ施設だ。今号では、そのインドア市場の実態も把握しながら、JSMI日本スポーツマーケット研究所（所長：廣瀬恒夫氏）にご協力を得て、共に歴史を振り、これからのインドアゴルフ市場の未来までを考察してみたい。



第1部 インドアゴルフの現在

JGRA 調査研究委員会の調査では、インドアゴルフ施設の出店数は2020年から2023年までの間に約150%増となり(参照:「全国インドアゴルフ練習場数推移」)、主に東京、横浜などがある関東を中心として、関西、中部、九州などの大都市で増加している。これには、様々な要因が考えられるが、中でもやはりコロナ禍の影響が大きく、当時①「3蜜を避けることが出来るスポーツ」としてゴルフが再認識されたこと。同時に②都市部の飲食店などは来店者の大幅な減少により閉店が相次ぎ、オフィス需要も在宅勤務の普及により、急激に空きスペースが増えたこと。③デジタル技術を駆使した弾道測定器やスイング分析器、予約システムなどが進化、普及したこと。また、④ゴルフ業界以外の異業種からの新規参入や政府の事業再構築補助金なども追い風となったこと、などが複合的に重なりあったことが理由として考えられる。

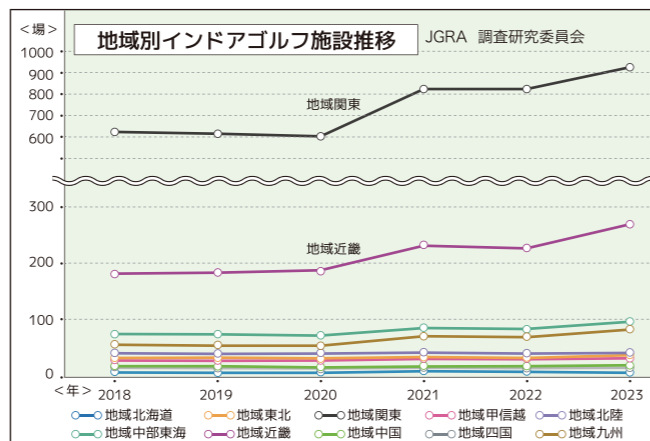
その一方で他の地域では、この期間はそれほどの増加は見られず、データは、ほぼ横ばいを示していたが、2023年から今年

に掛けては、それまでの大都市部での出店増の影響が、徐々に地方の中核都市にも広がったと考えられ、JGRA事務局にも多くのインドア関連の問い合わせが寄せられている。

アウトドア施設は、都市部では新規に大規模な用地の確保が困難なことや既存施設での老朽化、事業承継・相続などの問題があり、残念ながら減少傾向にある現状は今後も続く可能性が大きい。そうしたことを考えれば、インドア施設増加トレンドに変化はないかとも思われる。ただ、インドア施設の成長も徐々に鈍化し始めており、店舗の不動産コスト、打席数と回転率の限界、同エリア内での競合との関係、都心部での出店用地確保の限界という経営上の課題も抱えており、必ずしもすべてが順調にしている訳ではない。撤退する店舗も始めていることもよく耳にする。これからは、これらの課題を如何に克服出来るかという事もインドア市場の成長の鍵となっていく。JGRAとしては、今後の状況を見守りつつも、業界として何ができるのかを考えて行く必要があると思われる。

2018-2023年 全国インドアゴルフ練習場数推移 JGRA 調査研究委員会

年 別	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
地 域	北海道	38	38	38	38	37	38
	東北	30	30	30	32	31	33
	関東	621	612	602	824	826	933
	甲信越	23	24	24	26	26	28
	北陸	6	6	5	7	7	7
	中部東海	74	73	70	84	82	94
	近畿	181	183	187	231	226	269
	中国	14	14	13	17	16	20
	四国	13	12	11	13	12	14
九州	55	53	53	70	68	82	
合 計	1,055	1,045	1,033	1,342	1,331	1,518	



第2部 インドアゴルフ施設が生まれ出された背景



1 昭和の余暇時代の始まり

第二次世界大戦により焦土と化した日本も、企業と国民のためゆめ努力により活力を取り戻し、1960年代に入ると目覚ましい経済成長を実現した。

さらに1964年10月10日に開幕された「第18回オリンピック競技東京大会」は、新幹線や高速道路等のインフラ整備を促進し、日本は高度経済成長時代を迎えることになる。こうした背景により可処分所得が増大した国民は、生活にもゆとりが始め、「余暇の時代」が始まったのである。そして国民的なスポーツとして登場したのが、「ボーリング」と「ゴルフ」であった。

2 ボーリングブームの急速な拡大と終焉

ゴルフブームに先駆けて生まれたのが、1960年代後半に始まったボーリングブームであった。施設としての必要面積も小さく、また屋内競技であるため天候等に左右されることもなく安定した経営が可能であるため、全国各地でボーリング場建設の要望が高まった。

日本の各商社は別会社を創設したうえで、米国のメーカーが開発した機器設備システムを輸入し事業を展開した(伊藤忠商事: AMF 三井物産: ブランズウィック等)。

ボーリングはルールもシンプルであり、老若男女の誰でもが楽しむ事ができ、一方で機械化が進んでいるため運営コストも低いため、開業を望む経営者が続出した。

競技人口も急増し、ブーム期には2~3時間待ちというものもざらであったが、パーフェクトスコア(300点)が比較的簡単に出したこと、シンプルではあるが奥の深さがないといった問題点も内包していた(こうした特徴の多くが、ゴルフと対照的であった)。そのボーリング市場も1980年代に入り、オイルショックの影響も受け、次第に勢いが衰えたのであるが、替わって台頭してきたのがゴルフであった。

3 ゴルフブームの芽生えと、新しいゴルフ普及拡大への動き(時代背景)

1970年代に入ると、一部の富裕層の遊びであったゴルフが、日本経済の成長に伴い生まれた中産階級層の、ステイタス願望をかかなえる特殊なスポーツとして急激に参加人口を増大し始めたが、次のような多くの問題点も内在していた。

1. ゴルフ場の不足

新たなゴルフ場の建設には10年近い歳月がかかるため、圧倒的な施設不足が生まれた。

2. 新規ゴルファーを指導できる人材の不足

ゴルフをスポーツとして普及させるための、「指導人材育成とシステム」「科学的なメカニズムの解明」「用品用具の開発供給」等への取組みも、大きな課題となっていた。

ゴルフブームが本格化する中で早急な対応が必要となったのが、新規参入者に科学的な知見に基づき指導をする、ゴルフインストラクターの育成であった。当時の日本プロゴルフ協会(PGA)は、トーナメントプロを主体とするため、PGA内にインストラクター制度が発足するのは1985年になる。

ゴルフ練習場連盟では、練習場に勤めながらアシスタントプロとして、プロを志望する人達を研修させる機関(研修会)が1960年に設立され、多くのPGA会員が誕生しレッスン等に従事している。

この時期のプロの多くはゴルフコースに所属し、そこで会員たちにレッスンをして収入を得るといった状況であった。またコースには将来のトーナメントプロを目指す予備軍が多く存在していたが、彼らは所属プロの指導を受けながらコースの運営業務に従事していたのである。アシスタントプロと称されていた彼らも、新規ゴルファーに体系的かつ科学的な指導をする能力は持っていなかった。

こうした状況を打開し、ゴルフの大衆化を推進するため、ゴルフ業界では次のような様々な取組みが始まった。

① 住空間にゴルフ練習場の建設

当時のゴルフ場はほとんどがメンバー制であり、さらに住空間から遠く離れた場所に位置していたため、非会員の新たなゴルファーが日常生活の中でコース内の練習設備を利用することが非常に困難でした。そこで、この状況を改善するために、短期間で建設可能な「独立型のゴルフ練習場」が全国各地に多数設けられました。これにより、ゴルフを楽しみたい人々がアクセスしやすい練習環境を得ることができました。

② 統一指導方法システムの誕生

日本のゴルフ界は、もともとゴルフ場を中心にプロゴルファーがメンバーにゴルフを教える形態が主流であり、プロたちは自らの経験に基づく指導を行っていたため、科学的なティーチン

グのシステムを有していなかった。しかし、1978年に米国から導入されたNGF(NGF Far East)がこの状況を変革し、統一された指導方法のもとでインストラクターの養成とゴルフスクールの全国展開が始まり、インストラクターという新しい概念が日本のゴルフ界に浸透した。

③ 1980年代にはアメリカからのゴルフ理論を導入したゴルフスクールの展開がスタート

ゴルフ用品業界もその市場性を期待し、異業種からの参入が相次いだ。ゴルフ人口を拡大するには、新たな指導システムを組み入れたゴルフスクールの拡大が必要であると判断し拡大した。

④ 1980年代中頃より新しいゴルフ理論を学ぶため若いインストラクターが米国留学

また、日本のゴルフ場において徒弟制度的な学びを避け、米国流の確立されたカリキュラムと指導手法を学びたいと希望する若者が増加している。そのような若者たちは、当時世界で唯一のゴルフ単科大学であった米国の「サンディエゴ・ゴルフ・アカデミー」などに留学し、科学的な指導方法を習得していた。こ

うした動きの結果、映像解析を用いたレッスンが日本に導入されることとなった。

⑤ アマチュアゴルファー向けの科学的な優しいクラブ開発

ゴルフ用品もプロ視点の開発が主流で、アマチュアゴルファー向けの機能を視野に入れた、科学的な解析による商品開発システムがなかったが、各メーカーもそうした問題解決に向け、サイエンスゴルフの導入に取り組んだ。

⑥ プロゴルフトーナメントの繁栄

さらにゴルフに興味を示さない人達を呼び込むため、トーナメントの開催が増加し、米国から多く著名プロが来日するようになった。特に1974年日本に世界基準のトーナメントを作ろうとの考えからダンロップフェニックストーナメントが開催された。

⑦ ゴルフブームが生まれた背景には

日本経済の急速な成長があり、ビジネスマンたちが事業拡大の手段としてゴルフを活用するといった環境が顕在化し、やがて日本は米国に次ぎ「世界第二位」のゴルフ大国となった。

スポーツプラザ(スポーツ複合施設)5Fに屋内ゴルフ練習場11打席、ゴルフショップ併設がオープン。当時としては打席練習、プロによるクリニックレッスン、最新ビデオクリニックと充実した内容だった。

3 1980年代からのゴルフブーム到来 (女性ゴルファーの増加)

1980年代初頭から始まった第3次ゴルフブームは、20代や30代の新たな参加者が増え、ゴルフ人口は1980年の1320万人から1990年には1680万人に達した。(余暇開発センター発表をもとにJSMI/日本スポーツマーケット研究所で算出)この背景には、スキーやテニスブームを経てゴルフが主流となったことにより、特に女性のゴルファーが急増した。女性のアンケート調査では、「始めたいスポーツ」の第1位にゴルフが選ばれるなど、女性のゴルフへの関心が高まった。また、この時期には働く独身女性や独身男性、子供のいない若い夫婦などニューリッチ志向と呼ばれる方々が、より高級な余暇活動にお金を使う傾向が強まり、ゴルフ界に新たな消費者が流入した。また、1987年頃にはアマチュアレディースゴルフ大会が全国20会場で開催され、2,000名以上の女性ゴルファーが参加していた。



30分の座学 ビデオ&レクチャー例
教材と当時最先端のDVD(レッスン映像)が制作された事例

5 インドアの発展と共に科学的レッスンに必要な映像解析機器の開発が進む(1990年~)

1990年代には、ビデオレッスンが分かりやすく開発され、同時にブリヂストンスポーツの「サイエンスアイ」(科学的スイング分析)が1980年代後半に登場した。このシステムは高性能なスイングチェックマシンであり、インパクトの瞬間を5万分の1秒単位で解析し、弾道シミュレーションを表示するため、これによりゴルファーは飛距離を伸ばしたり、ショットのコントロールを向上させたり、スキルをレベルアップさせたいという願望に応えることが可能となり、ゴルフショップや個人レッスンに導入された。また、ダンロップスポーツは「パストビジョン」というスイング映像分析モニターを発売し、インドア施設でのレッスンに活用されている。



第3部 パイオニア的なインドアゴルフ施設(都心、都市圏)と運営システム

1 1950年代 (紳士のスポーツ・ゴルフの普及。丸善ビル屋上。)

余暇を楽しむための需要が増えた大正から昭和にかけ、丸善はレジャーやスポーツに関する用具やガイドブックを相当数仕入れていた。そのなかには高級ゴルフ用具も含まれていた。ゴルフはまだ、ごく一部の有閑階級のみが楽しめるスポーツだったが、外国人や富裕層を顧客にもつ丸善は、相当早い時期に輸入を始めていた。

戦中・戦後はしばらく輸入が途絶えたものの、1952年に輸入の許可が出ると、丸善はすぐにゴルフ用品の輸入を再開。翌年には大量のゴルフクラブを発注した。社内でも時期尚早ではないかと心配の声が上がったが、その心配は無用なほど、急速にゴルフは広まっていった。そして1954年(昭和29年)、日本橋の本社屋上に「丸善ゴルフフェーズ・センター」をオープン。また都内に広い練習場がほとんどない時期に、便利な場所に大きなグリーンを設け、人気を博した。日本ゴルフ協会の理事長以下、錚々たるメンバーが相談役に名を連ね、いまま日本のスポーツ史に名を残す林由朗など、有名プロ七人が曜日ごとにレッスンを担当した。丸善は日本のゴルフブームの火つけ役でもあった。

2 1970年代 (BIG BOX高田馬場)

1974年JR、西武新宿高田馬場駅前に BIG BOX 高田馬場 西武



1974年当時の高田馬場のシンボル BIGBOX



現在の高田馬場BIGBOX様

(上)当時の高田馬場BIGBOX内のゴルフスクール案内

4 インドア施設に不可欠なゴルフレッスンシステムの誕生

インドア施設の増加に伴い、1980年代に入るとレッスンカリキュラムが整備され、個々のプロの感覚に頼ることなく、誰でも同じ内容のレッスンを受けられる統一プログラムが導入され団体レッスンがスタートしている。このプログラムは映像と教科書を用いたグループレッスン形式で、1ステップ8回のカリキュラムが3ステップで24回構成され、各レッスンは30分のビデオとレクチャー、60分の実技指導からなる90分の授業が主流となった。また、この流れの中で多くのスクール運営専門会社も設立された。

1980~90年代 全国展開の企業系ゴルフスクール(例)

- 旧西武百貨店グループのリボンゴルフスクール
(サンディエゴ・ゴルフ・アカデミーと提携し1988年に48課の教材DVD、教科書を開発)
- ダンロップゴルフスクール
(KTVダンロップゴルフスクールとして1989年スタート)
(1993年デビッド・レッドベター監修の教材40課を開発)
- ミズノゴルフスクール
(1985年スタート 教材32課を開発)
- ブリヂストンNewingゴルフアカデミー
(1997年スタート、教材監修倉本昌弘プロ 40課)
- プロギア産経ゴルフスクール、ヨネックスゴルフスクール等が全国に瞬く間に拡大した。
- 三菱商事のジャックニクラウスゴルフアカデミー



DUNLOP
ダンロップスポーツで販売していたスイング映像分析モニターパストビジョン

PastVision
Swing Monitor





大手百貨店屋上スクール施設写真提供 伊勢丹ゴルフスクールスイング浦和校

大手百貨店、都心のビル内に8打席～10打席程度のインドア施設が数多くできた



1989年打席数20打席(約300坪)のインドア施設が郊外スーパーの4Fに誕生し、大型インドア施設がいくつか誕生した。(会員在籍数も700名と毎日盛況) 80年代後半のレッスン風景



縦17m横4mの広さのパターグリーンロングパットからピッチングの練習まで

清潔なパウダールームを完備

伊勢丹ゴルフスクールスイング浦和校

6 インドア施設の総合プロデュース企業 (施設の安全管理も強化)

1980年代から、ソーコー(株)(現在アイリスソーコー(株))、(株)スポーツ環境システム、(株)コスモスポーツなどの企業が人工芝や打席マット、打席用品の製造販売を行う中で、インドア施設の企画・開発・総合プロデュースが進められ、結果として多くのインドア施設が誕生した。これにより、インドア施設の発展・安全管理面に大きな貢献がなされ、1988年には名古屋にゴルフ練習場に併設したインドア施設も誕生している。

当時、大手企業の参入もありボールの跳ね返り等を含めたインドア施設の安全管理・事故防止対策が強化された。

7 大きなビジネスチャンス(顧客事業)を 求めて大手企業が参入(1985年～)

この時代に新規参入した企業は大手百貨店や専門店、スーパー、スポーツクラブ、スポーツ企業、不動産企業など多岐にわたり、それぞれの目的は新規ビジネスの展開と優良顧客の開拓であり、レッスンの後に買い物を楽しむことができた。女性雑誌「Hanako」では、銀座や丸の内デートスポットとして摩天楼の屋上ゴルフスクールが特集され、非常に人気を集めていた。1985年頃から百貨店内に8打席程度のインドア施設がオー

ブンし、1989年には伊勢丹新宿店屋上、伊勢丹ゴルフスクールスイング(1989年)オープン。1989年の1フロア300坪に19打席+バンカー 1打席の大型インドア施設が大手スーパー内にオープンしている。当時としては、最大規模だった。そしてこれらの施設は数百名から1000名近い生徒を抱えるほどの盛況ぶりを見せていた。午前、午後は主婦層、夜は若い女性、会社帰りのヤング層、土日はヤング夫婦も集まるなど、ニューリッチ層の囲い込みが成功しており、各施設では顧客の固定化を図るためのイベントが頻繁に行われていた。

クリスマスパーティーやラウンドレッスン、国内外のゴルフツアー(国内北海道・海外ハワイ/グアム)、クラブ販売などの活動が積極的に展開されていた。また、スクール生専用クラブも開発されていた。

1980年代後半から90年代にかけては消費意欲が高まる中、ゴルフツアーも盛況であった。1989年には東京都調布市に高級会員制のインドア施設(スポーツクラブ+インドア施設(室内5打席+室外6打席)+パッティンググリーン+スイングチェックビデオルームを完備した施設がオープンし、充実した設備が整えられていた。(床延面積2,000㎡、三井物産の「YGIA イギアシステム」等)

8 1980年代のインドア施設のレッスン費

この当時の通常インドア施設のレッスン費は、8回25,000円～30,000円(1ヶ月12,500円～15,000円)と現在と同額に近い。(定員8名～10名)より少人数制のスクールでは5万円(1ヶ月)と高額だった。

9 新形態ゴルフ施設の登場

①名古屋で現在のゴルフバーの原点となる施設が誕生していた(1970年代)

場所は名古屋唯一の歓楽街である錦三丁目と、繊維会社と衣料問屋が密集する桜町に近いビルの一角であった。

オーナーは保険業を営む企業の社長で、当時、企画段階で「名古屋はゴルフ場が非常に不足しており、会員でもプレーの予約が大変。またゴルフは昼間しか楽しめないし、練習場ではゆっくり寛ぐこともできない。私のお客様で特に繊維衣料関係の経営者から、『何かゴルフを楽しむ場所が欲しい』といった要望が多く来ている。顧客サービスの一環として、こうした願望を満たす施設の企画を考えてみたい。」と話されている。施設は土地柄を考慮し「適度なお酒を飲みながら、夜もゴルフ談議ができる」「科学的な解析による個人レッスンを受けられる」「著名プロとも知己を得られる」といったコースメンバーが夜に集う「社交場&ゴルフサロン」というコンセプトであった。

この段階ではまだスクリーンゴルフの完成形は登場していなかったため、前記の伊藤忠AMFとTBSが共同開発したスイング&弾道解析システム(飛距離、球筋、ヘッドスピード、ミート率等のビジュアル表示が可能)を導入した。施設としては、3打席、練習グリーン、バンカー、ラウンジを備えていた。

メンバーシップ制を採用し、入会金、年会費、そして利用料金(飲食も含む)が収入源であり、名古屋周辺の著名プロも定期的に指導をするという形態であった。

オープン当初はかなり評判となっていたが、その後会員数や利用客も減少し、数年後施設は閉鎖された。施設撤退の最大の要因としては「時代の先取りをし過ぎたこと」があげられる。現在のスクリーンゴルフのような、遊び感覚願望を満たす事が出来なかった。

こうした多くの要因が推測されるが、この施設がその後の都市型ゴルフ施設やインドア施設に影響を与えたことは間違いのないと思われる。

②ボーリング場からの転業による、スクリーンゴルフ併設施設の誕生

もう一つ新たなゴルフ屋内施設として検討されたのが、小規模なボーリング場施設を活用した練習場であった。1980年代に入るとボーリング業界が不況に陥り、多くの施設が経営撤退を余儀なくされたが家屋の償却が完了していないケースが多く、再活用の必要性が生じていた。その中でゴルフ施設への転用案が浮上し、米国から輸入された「スクリーンゴルフ」の活用も検討された。こうした背景から愛知県の地方都市に位置するボーリング施設では、屋内型打ちっ放し施設(ボール回収等もすべて自動化)とスクリーンゴルフを併設したゴルフ施設の建設が計画され、打ちっ放し打席数は10、スクリーンゴルフの打席数は5、

さらに喫茶店も併設したゴルフ施設であったが、開業から4年で閉鎖になった。閉鎖の要因は、アウトドア型のゴルフ練習場が増加し、ゴルフスクールの展開も進んだことで、新規ゴルファーを取り巻く環境が良化したため。また、スクリーンゴルフの映像が暗く、特定のコースを想定したシステムが未開発であったため、臨場感やゲーム感覚を満たすことができなかった。さらに、設備投資が高額になり、利用料金も高く設定せざるを得なくなった一方で、地方都市には低価格のゴルフ場も登場したため、集客率が次第に低下していった。

③スクリーンゴルフの進化

その後、スクリーンゴルフの機能は著しく進化し、世界の著名なゴルフコースだけでなく、日本のゴルフ場を想定したソフトも制作できるようになった。このため、様々な施設での活用が進むようになった。

さらに、インドアゴルフではビギナーに対して技術的な指導だけでなく、コースプレーに必要なマナーやルールも学ばせることができるため、導入する施設が増加した。また、スクリーンゴルフはゲームとしても楽しめることから、スポーツジムやビル型ゴルフバーなどへの導入も拡大していった。

④ゴルフスクール関連の広告宣伝もおしゃれな時代

今でも斬新な キャッチコピー

(1990年代前後)(宣伝・募集媒体から)

- ・練習場でない、コースでない、**第3の施設(インドア)の誕生**
- ・余暇の時代、スポーツの時代、時代が変わる時期
- ・余暇が変わる、ゴルファーが変わる
- ・どこへいく、1,500万ゴルファー
- ・ゴルフはアミューズメント
- ・おしゃれ感覚
- ・育ちのいいレッスン、なんにも知らなくてもいつのまにかゴルファーになっている
- ・まいにち楽しんでいたらいつのまにかトーナメント(コンペ)にでていた
- ・私の街のデイリー リゾート
- ・明日から子供に戻って学びたい
- ・一から出直してみるか
- ・イキに上達



1980年代のコースレッスン風景

第4部 2000年代 インドアゴルフ施設増加の背景



1 東京やその周辺の都市における練習場の動向

全国的にインドアゴルフの新規オープンが増大しているが、東京を中心とする関東地区でその傾向は顕著になっている。その要因としては次のような点が考えられる。

①東京やその周辺の都市における練習場の動向

1960年代に入りゴルフ市場が拡大し始めると、全国各地でゴルフ練習場の建設が急速に増大したが、東京および周辺都市における施設はその特性から次のように大別される。

※企業が保有する遊休地を活用した ①大型練習場 ②中規模の練習場 → 都心型と郊外型がある。

※農地を転用した個人経営の ③比較的小規模の練習場

②ゴルフブーム到来

ゴルフブームは1980年から顕著になり、1992年頃ピークを迎えたが、バブル的経済が崩壊すると共にゴルフ市場も低成長に転じ、以降30年以上縮小が続いている。



一方で日本経済はその後も一定の成長を続けており、景気がゴルフ市場縮小の主要因ではない。この時期からゴルフをする人口が減少し、そのためレッスンを受ける方が減少しインドア施設も経営的に厳しくなり閉鎖している。

③ゴルフブームの終焉

ゴルフブームの終焉と共に、東京都心では大型の練習場の経営撤退が多発し始めた。

- ・2000年末に新宿の日本テレビゴルフガーデンの閉鎖。
- ・2001年に閉鎖された西武鉄道グループの「芝ゴルフ場」は、港区の一等地に3階、155打席、300ヤードを有する超大型施設であり、レストランや喫茶店、ゴルフショップ等も併設した、まさにゴルフ練習場の範疇を超えた施設であり、ゴルフブームを牽引した象徴的な存在であった。
- ・有明の「東京スポーツセンターゴルフ練習場」等の大型施設が次々と経営撤退した。

こうした状況から、「東京ではゴルフ難民が溢れる時代が来た」と表現された。米国と異なりゴルフ場が住空間にない日本で、練習場の経営撤退が続けばゴルフの非日常化が進み、大きな問題になると懸念された。

一方で関東東地区における施設数としては、農地を転用した個人経営の比較的小規模の練習場が多く経営を存続していたため、データ上では練習場数の減少はさほど問題視されなかった。ただ打席総数という視点から見れば、大型練習場の相次ぐ撤退

は大きな問題となった。

2 インドアゴルフの急激な増大背景 (インドアブームの再来)

2000年代後半に入ると、都心、郊外にインドアゴルフの新設が目立つようになったが、その背景となる要因としては、次のような点があげられる。

- ①都心の大型練習場の撤退に伴い生まれた「ゴルフ難民」をターゲットにできる。
 - ②商業ビルに空き部屋が目立つようになり、比較的安価で借入れが可能となった。
 - ③住宅地に近い所にインドア施設が出来始めた。
 - ④スクリーンゴルフをはじめ、運営に必要な高機能ツールが次々と開発された。
 - ⑤PGAをはじめ、ゴルフ練習場連盟、その他インストラクターを養成する機関が増え、ティーチングに従事できる人材を低コストで採用できるようになった。
 - ⑥女性のゴルフ参加者が増加し始め、ショッピング等のついでに身近な施設でゴルフを楽しむといった需要が増加した。
- このほかにも様々な要因があると思われるが、いずれにしても短期間に開設でき、また投下資本も少なく済むインドアゴルフは増え続けた。

3 インドア施設の復活の一例 (郊外型インドア施設から都心施設へ)

インドア施設の復活は2000年代、2007年にゴルフ量販店(二木ゴルフ三郷店)店舗内にダンロップゴルフスクール(8打席)が出店した時点からではないかと思われる。

通常インドア施設は、都内駅近くの立地で行われてきたが、フロア階、賃料の問題があった。しかし、郊外型のゴルフ専門店との共同出店の成功により都心から郊外へインドア施設が普及し、インドア施設の復活の幕開けとなった。また、2000年頃より健康志向も強まり、2003年には、通常のゴルフスクールに体のゴルフコンディショニング等を付けた業態も都内でスタートしている。

リゾートホテルではゴルフドック(健康セミナー+ゴルフレッスン1泊2日)が開催され、全国から参加されていた。

4 インドア運営に必要な高機能ツールの開発、新時代へ(自動化の普及)

2000年以降に安価な2画面分析ソフト(前後のスイング分析)が海外から導入され、レッスン業界に広がった。

2007年頃には、携帯電話からのスクールレッスン予約が簡単にできるシステムが開発され(㈱フラッグス)一気にインドア施設へ導入され、インドア施設の普及に弾みがついた。

このシステムの基本開発により、60分制の実技指導のみの月会費定額制(月何回受講も可能)もスタートした。2000年頃から映像が進化したスイング映像分析機器が導入されたことも普及



インドア施設の復活の一つが2画面分析ソフトの導入

インドア運営復活の一つが、予約システムの導入

ゴルフコンディショニングを併設した施設も誕生している。

及に弾みをつけた。シュミレーションゴルフの映像のクオリティ、弾道計測器も格段に進歩し、スポーツクラブでのインドアスクール展開も拡大し、2010年には、パーソナルレッスンの展開もスタートしている。現在のインドアゴルフスクールの基本はこの時期にほぼ完

第5部 インドアゴルフにおける課題



関東地区の都心を中心に急増するインドアゴルフ施設であるが、その実態は不透明であり、また次のような多くの課題や問題点を抱えている。

- ①運営母体の多くは、インストラクターが経営者であることが多く、また異業種の方々も多い。同じエリアに数多くのインドア施設が出店し、体力勝負になっている。こうした事情から、新規開業が増加する一方で、経営撤退も今後増えると予測される。
- ②レッスンを中心に展開しているインドア施設では、人件費を削減するため、インストラクターを公的組織(PGAやJGRA等)で体系的な教育を受けていない人を採用するケースがある。その結果新規参加者への指導の質のレベルも低下し、良きゴルファー育成という視点からすると問題点もあると思われる。
- ③ゴルフ業界はここ数年、新型コロナ感染拡大問題に翻弄されたが、結果としてゴルフは多くのレジャーやスポーツの中で、最も「3密リスク」の低い安全なスポーツとしての認識が強まった。

ところがインドアゴルフはこの「3密リスク」の高い施設として、スポーツジム等と並び多くの規制を受けることになった。

新型コロナウイルス感染については、様々な対応や新業の開発によりある程度落ち着いてきたが、こうしたウイルス性感染症は地球環境の悪化により、今後様々な形態で拡大する可能性が高いと、WHOも警鐘を鳴らしている。今後インドアゴルフの経営に影響がでる可能性がある。

④さらに重要となるのは、日本は総人口の縮小と少子高齢化が並行して急激に進むため、「ゴルフ人口の大幅な減少を如何にヘッジするか」といった課題である。そのターニングポイントと

成している。現在は、新規入会、退会、会費引落しもスマホからOK。インドア施設入退店もスマホで自動。打席でスイングを撮影し、遠隔操作でインストラクターがネットで指導したりする。若者にはゴルフに入りやすいシステムになった。

なるのは、2030年であると予測する。ゴルフ市場規模はピーク時から50パーセント以上縮小しており、日本固有の「少子高齢化社会」がもたらす地殻変動は、経営障害になることは間違いない。

1990年代のゴルフ人口は1,500万人前後と現在の約2倍存在していた。少子高齢化でゴルフ対象人口の減少傾向は今後継続することは間違いない事実である。インドアゴルフの歴史を振り返ると、ゴルフを広めていこうとする先人達の努力の跡が読み取れる。しかし、マーケットや時代のニーズの変化で、インドアゴルフ施設の盛衰が起こり現在に至っている。今後のインドアゴルフ施設の発展を考えると、ゴルフ業界が一丸となつて「はじめよう、続けよう、もっとゴルフを」のゴルフ市場活性化活動がベースになる。その中で、インドアゴルフ施設ならではの特性である、敷居の低さ、アクセスの良さ、天候に左右されない、酷暑や冬の寒さから逃れられる、シミュレーションゴルフでプレーができるなどを生かして、ノンゴルファーへのアプローチ、女性のゴルフ普及、シニアのゴルフ継続他、多くの課題解決への糸口となる施設である。

まだ未加盟のインドア施設にはこの機会に全日本ゴルフ練習場連盟へ加盟していただき、一緒に活動をしていければと思う。



image photo

2024.4 韓国視察レポート

日韓のゴルフ練習場団体で情報交換と懇親を

韓国は、ここ20数年でゴルフビジネスが急拡大し、世界的なゴルフメーカーやアパレルを次々と傘下に加え、1ゴルフ場当たりの入場者数は年間約10万人とも言われシミュレーションゴルフでも世界をリードしています。連盟では2024年4月に韓国視察ツアーを実施し、同連盟広報役員に視察レポートをしていただきました。

全日本ゴルフ練習場連盟 (JGRA) と韓国ゴルフ練習場協会 (KGCA) が4月17日、ゴルフ練習場情報及び業務交流に対する合意式

4/17 **1日目**
2024年4月17日、ソウル市中区明洞のロイヤルホテルで、日韓ゴルフ練習場協会の情報交換と協力のための協定式・調印式が行われました。全日本ゴルフ練習場連盟 (JGRA) と韓国ゴルフ練習場協会 (KGCA) が業務提携し、両国間のゴルフ練習場発展に向けた友好と情報交換の新时代が幕を開けました。

JGRAの横山雅也会長ら10名の理事、会員とKGCAのユン・ホンボム会長ら10名の役員が出席し、調印式後には懇親会及び意見交換会も開催され、両国のゴルフ練習場産業やゴルフ業界についての活発な情報交換がなされました。



VOICE CADDIE社が直接運営しているインドアゴルフ練習場

● 韓国スタイリッシュなアウトドア練習場 ●

さらに午後、水原 (スウォン) CCゴルフ練習場を視察し、アウトドアゴルフ練習場の運営状況と施設の充実度を確認しました。102打席、300ヤード、3階建ての大型練習場です。約5年前に全面リニューアルオープンしており、外装も内装も素晴らしい「デザイン性のある、とてもスタイリッシュな空間」でした。(韓国はどこもデザイン性が素晴らしいと個人的には感じました。)ロビーフロアには世界的に有名なバリスタのカフェや、ゴルフショップが常設されており、広大な地下駐車場も備わっているため、天候不良でも快適に利用することができます。また全打席にスイング解析や弾道測定の出来る装置が設置され、施設周りにショートコースもある為、実際にゴルフコースに行くプレイヤーのための練習環境が整備されていると感じました。また施設内には、トレーニングジムや韓国国内で有名なゴルフアカデミーも併設されており、韓国のナショナルチームの選手も来てい

4/18 **2日目**
午前: 韓国ソウル市内のVOICE CADDIE本社を表敬訪問し、社内に展示の商品内覧、CEOとの意見交換会を致しました。

VOICE CADDIE社は、ゴルフ場にて使用するレーザー距離計をはじめ、GPSを利用した距離計測器を多数開発し、近年では、インドアゴルフ施設使用向けの弾道測定器の発表もされています。

CEOとの意見交換会では、JGRAの参加者からは現地韓国でのインドアゴルフ施設全般の現状や利用者の状況等についての質問が多数寄せられ、CEOは一人一人の質問に丁寧に答えて頂きました。この情報交換会でも日本でも生かせるヒントになる内容が沢山ありました。

● インドアゴルフ練習場の先進的な設備 ●

4/18 **2日目**
午後は、VOICE CADDIE社が直接運営しているインドアゴルフ練習場施設を視察しました。

VOICECADDIE社のインドアゴルフ練習場は、ビル室内の広大なフロアに34打席を有する大型施設です。全打席には最新のゴルフシミュレーターやトレーニング機器が完備されており、会員向けのロッカーも充実しています。また、施設全般に清潔感があつてとても綺麗でスタイリッシュなデザインに仕上がっており、プレイヤーは本格的なゴルフ体験を室内で楽しめます。平日の午後でも多数の会員の方が練習やレッスンを受講していました。

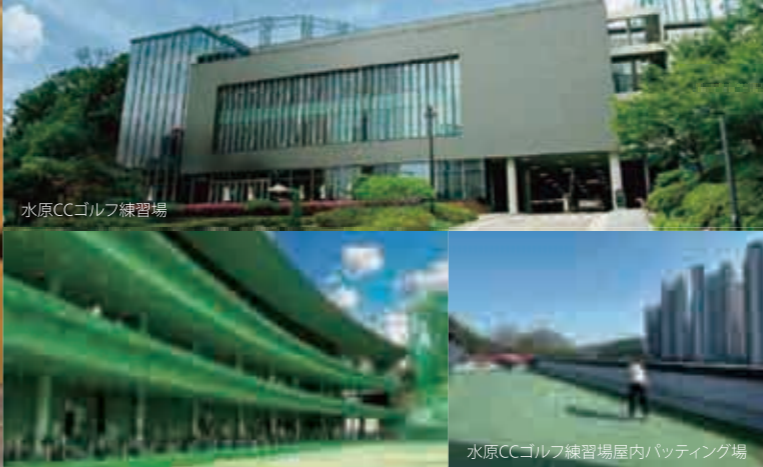


● 総ゴルファー人口は、日本と韓国でそんなに違いがない。およそ500万人～600万人。日本に比べて韓国では国土の関係でゴルフ場の数が少なく、値段も高い。ゴルフを始める人たちは、まずインドアゴルフ (インドアゴルフ施設は、日本より圧倒的に韓国の方が店舗数が多い) で練習をし、そして仲間同士でシミュレーションゴルフで完結してしまうことが多い。ただ、仲間とエンターテイメントとして楽しむ文化が定着しており、日本とは違う新たなゴルフの楽しみ方が浸透しているとも言える。

- VOICE CADDIE社 <https://www.vse.co.kr/interior.vse>
- MMOVEゴルフ (インスタ) https://www.instagram.com/mmove_golf/
- sky72ゴルフ&リゾート <https://m.sky72.com/en/main.jsp>

掲載レポート参考URL

Korea Situation



水原CCゴルフ練習場

水原CCゴルフ練習場屋内パッティング場



屋外300Yの水原CCゴルフ練習場で設備の説明を聞く連盟役員

るそうです。実際に、当日は韓国の有名な女子ツアープロも何名か練習に来ていたり、多数の一般のゴルファーも熱心に練習している風景が見られたりしました。

● 韓国ゴルフエンタメ要素 ●

4/18 **2日目**
MMOVE (ソウル中心地から1時間程の郊外にある練習場) 韓国のエンタメ要素を取り入れたゴルフ練習所を視察し、新たなコンセプトの可能性を探りました。

【韓国のゴルフエンタメ要素】

MMOVEはエンタメ要素を取り入れたゴルフ練習場で、ゴルフのスキルアップだけでなく楽しみながら上達できる施設です。プレイヤーは新たなゴルフ体験を追求できます。またグループや家族連れで楽しめる、新たなアミューズメント施設としての役割も担っていける可能性を感じました。昼間は通常の練習場としての営業となり、夜8時以降になると、照明を落とし、ノリの良い音楽が流れ、ブラックライトとボールの蛍光塗料で弾道が目視できるようになっています。また、照度の落ちたグラウンドには、明るいレーザー光線でグラフィックを描く異空間を



仲間を楽しめるインドア施設



「MMOVE」施設内



夜の空間演出をした「MMOVE」練習場

演出。プレイヤーの気分が盛り上がるような演出となっています。日本に同様の施設はまだなく、ゴルファーを増やすには一つの施策として検討の余地はあると思いました。

4/19 **3日目**
「sky72ゴルフ&リゾート」—ソウル近郊の72ホールを有する広大なゴルフコースになります。最終日はこちらで日本から参加の8名2組でプレーし、ゴルフ場の視察を行いました。朝早くチェックインしたにも関わらず、駐車場は多数の車で埋まっており、クラブハウス内もチェックインする利用者が多数いらっしゃいました。

平日だったのにこの人出ということは、土日祝日は相当な人数が来場されるということが想像できました。

韓国のゴルフ場が少ないが故に、沢山の人が押し寄せている現状を実感しました。

コースの特徴としては、仁川空港近くということもあり、ソウル中心から1時間程のアクセスの良さ、比較的フラットで広いコース、という特徴を感じました。



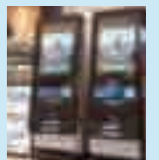
Korea Situation.2024

総括 先進的な設備とサービス インドアゴルフ練習場やエンタメ要素を取り入れたゴルフ練習場など、韓国のゴルフ施設は先進的で充実しています。プレイヤーの体験を向上させるための工夫が随所に見られました。全般的に、「キオスク」というタッチパネル式チェックイン機能が付帯した決済が基本となっており、チェックイン～会計まで大変スムーズで、人を介さない省人化が進んでいると思いました。これはゴルフ業界にとどまらず、韓国の大都市では基本的に定着している決済サービスであると思います。あまり現金決済を使用することは少なかった印象です。

韓国のゴルフ市場は、新たなサービス展開や、ターゲット層に対する訴求、インドアゴルフ文化の定着など「攻め」の姿勢を強く感

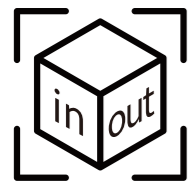
じたのに対し、日本ゴルフ業界はチャレンジという面ではまだまだ保守的な印象を受けました。日韓それぞれの文化的背景を含めた、双方のゴルフ市場発展のため、双方向の情報交換の機会や体験共有の機会を、今後も継続的に進めていく必要性を強く感じました。

弾道が目視できるようになっています。また、照度の落ちたグラウンドには、明るいレーザー光線でグラフィックを描く異空間を演出。プレイヤーの気分が盛り上がるような演出となっています。日本に同様の施設はまだなく、対ゴルファーを増やすには一つの施策として検討の余地はあると思いました。



レポート担当: (公社)全日本ゴルフ練習場連盟 広報委員長/板垣庄司氏

キオスク/imagephoto



インドア+アウトドア ハイブリット運営の極意

ここからは、アウトドア練習場の敷地内にインドア練習場を併設した2つの練習場をモデルケースとして紹介します。



dx golf 24 (大阪市東淀川区)

老舗内に誕生した、利用者・スタッフのウェルビーイングを目指す実験場

●ドリームフレグランス株式会社(運営会社)
代表取締役/春原 吉美さん

DXで諸問題を解決したい。 24時間無人営業はその1例

老舗アウトドアゴルフ練習場、井高野ゴルフセンターの敷地内に、2022年1月にオープンして以来、業績を伸ばし続けるインドアゴルフ練習場がある。完全無人・365日24時間営業のスタイルで、コアなゴルフファンのリピーターをがっちりつかむ。今回は、件の練習場dx golf 24を運営する春原吉美さんに、施設のオープン経緯や成長秘話などをうかがった。

春原さんは本業として調香やフレグランス関連事業を手掛け、井高野ゴルフセンターの経営コンサルタントも務める。

「もともとコンサルタントとして、コロナ禍を機に敷地内のフットサル場が変わる事業提案を依頼されていました。マーケットリサーチなどを重ねた結果、立地環境や本業を考慮して“インドアゴルフ練習場”をご提案させていただいたのです。そしたら弊社でやって、と(笑)。春原さんもインドアゴルフ施設事業を通じて試してみたいことがあったそうだ。

「DXでいろいろな問題解決に挑戦したくて。人に頼らない経営もその1つです。弊社の従業員はワーキングマザーや遠隔地に住む女性たちで、コロナ禍以前からリモートワークをしています。都合の良い時間にいつでもバーチャルオフィスに

出勤して働いてもらう仕組みです。インドア練習場でも同様の働き方で完全無人の24時間営業が可能かを実験してみよう」とdx golf 24の企画設計から運営の全てを自社で引き受けたと言う。

「無人と言っても、バーチャルオフィスには弊社のスタッフがスタンバイしていますし、コールセンターやメール対応もスタッフがいきます。現場でトラブルが起きた場合は、井高野ゴルフセンターさんが対応して下さるよう業務委託契約を結んでいます」、このように万全を期してお客様を迎える。

挑戦したのはシニア層のdx化、 世代を超えたコミュニティづくり

dx golf 24は予約から退館までスマートフォン(以下、スマホ)を使い、お客様自身が操作するシステムだ。ゴルフ練習場にはスマホが苦手な高齢のお客様も多い。「この点もチャレンジでした。ただ、スマホをうまく使えると、災害に備えたり、家族や仲間とのコミュニケーション手段が増えたり、生活に役立つことが増えるでしょう。スマホが苦手な世代も、きっかけがあればDX化できるかもしれないと考えたのです。そのような意味でも、スマホをお持ちでないシニア利用者が多いゴルフ練習場は、格好の実験場でしょう」と春原さん。

いざ施設を造ってみたら、会員は好きなゴルフの練習を充実させるために、スマホや施設の予約アプリの使い方を懸命にマスターする高齢層が多かったのだとか。「わざわざガラケーからスマホに買い替えた方や、お孫さんとLINEをするようになった方もいらっしゃいます。こういうお話を聞くと、お客様の暮らしにも貢献できていると実感できて嬉しいです」

春原さんによると「定期的で開催するコンペイベントでは、お客様同士は対面でパーティを組み、インドアでラウンドしますが、お名前とスコアや順位は施設内のデジタルサイネージで見られます。お名前はニックネームでも登録できるので、直接会えば会員同士がニックネームで呼び合うなど、世代がバラバラでもオフ会のような感じで非常に盛り上がります。これらをきっかけに、お客様同士が施設の廊下で顔を合わせるとお話されたり、助け合ったり。スタッフがいない無人の施設だからこそ、自然なコミュニティが生まれる」そんな効果も見られると言う。

練習場に「住人」を生み出す インドア×アウトドア練習場

オープンから3年目で2倍の会員数をつかんでいる同施設。オープン前からお客様の口コミで施設のことが広がり、会



1 エントランスをくぐると20の個室が並ぶおしゃれな空間。会員間の交流に役買デジタルサイネージも入り口に 2 3 満洒にまとめられた高級感が漂うインテリア。施設内はアロマで満たされ、香りが本業の運営母体ならではの配慮が行き届く 4 個室の様子。予約した打席へはスマホ操作で入室できる。レフト対応は2打席を用意 5 打席によって異なるコースボールは個室外に表示



6 全ての個室にシミュレーションゴルフ「Joy Golf smart+」を導入。弾道測定やカメラ機能によるスイングチェックができる 7 関西初導入の傾斜付きプラットフォーム「Big Tilt」を備えたハッティング練習スペース

そうだ。

また、客層について「ゲーム性の高いインドア施設は、初心者や若年層への入口になると考えていました。練習を人に見られたくないと感じる初心者は多いため、完全個室を用意。また、アロマが香る建物のインテリアは女性を意識して設計しました。しかし、若年層の初心者の方が意外と少なく、女性会員は全体の1割程度なのは目下の課題です。女性のお客様の多くは会員のお連れ様か実情」と話す。

最後にインドアゴルフ練習場の可能性について尋ねてみた。「地球温暖化を考慮しても、インドアスポーツはどんどん発達して、新しい遊び方の1つになっていくでしょう。ゴルフでは、韓国にインドア限定のプロが登場したと聞きます。例えばインドア限定対抗戦をするなど、今までとは違うつながりや広がりをつくる可能性があるのではないのでしょうか」

員登録する人がいたほどだそう。これは、広い敷地にいろいろな練習ができる設備を持つ井高野ゴルフセンターに併設している強みだろう。

「井高野さんに通う方は中級以上のレベルの練習熱心な方が多い。サブスクリプション利用の弊社施設は、1日の枠内でしたら球数を気にせず打つことができます。井高野さんは1球当たりの料金システムですので、両方を上手に組み合わせ練習される、練習場の『住人』のようなヘビーユーザーがかなりいらっしゃる」と春原さんは話す。

『住人』がほかのお客様の困り事を解決

して下さることも。最近『住人』のお客様に、新しい球種やマシンの導入の際のモニターやご意見をお願いすることもあります」

ゴルファー創出を目指して。 可能性を拓くインドア施設へ

異業種ならではの視点で事業を展開し、順調なdx golf 24だが、「だからこそその失敗もたくさんあります」と春原さん。コストの高いシミュレーターを全個室に設置したことはその1つだと話す。「365日24時間営業ですから、機器のダメージも大きい。2店舗目を開くなら要検討」だ

■dx golf 24

【基本DATA】
大阪府大阪市東淀川区井高野4-7-94 井高野ゴルフセンター内
☎ 078-761-6611 (コールセンター) ㊟ 24時間 ㊟ 年中無休
料金: 会員制 入会金5,500円、13,200円(税込)~24,200円(税込)/月
※各種オプションチケットなどあり ※体験利用=1回(50分)5,500円(税込)
●1日の利用上限: 1~2枠(1枠50分) ※会員ランクにより異なる
●利用方法: インターネット・スマホからの完全予約制
●同伴: 1会員3名まで可
㊟ https://dxgolf24.com

【施設DATA】

- 打席数: 個室20打席 (うち左右打席2打席)
- 使用ボール: 全打席コースボール ※打席により種類が異なる
- 導入シミュレーター: Joy Golf smart+ (全個室)、Big Tilt
- 駐車場: あり (井高野ゴルフセンター共用200台)



■井高野ゴルフセンター

【基本DATA】
大阪府大阪市東淀川区井高野4-7-94
☎ 06-6340-3122
㊟ 打席=4:00~23:30 (ボール貸出機22:45まで)、フロント=9:00~21:30 (土日祝7:00~)
㊟ 不定休
料金: 平日10円~/1球、土日祝13円~/1球
㊟ https://itakano-golf.com

【施設DATA】

- 打席数: 150打席
- フェアウェイ: 250ヤード
- 導入シミュレーター: TOP TRACER (111打席に導入、利用無料)
- ショートゲーム練習場、アプローチ練習場
- 【付帯施設】ゴルフ工房、フィットネスジム、レストランほか



in/out インドア+アウトドア ハイブリット運営の極意



ウィンズ FAMILY GOLF

(埼玉県新座市)

ゴルフ村がつくるゴルファー創出と定着の循環——そのパイオニアとして

●ウィンズゴルフステーション新座 (株式会社武蔵野)
副支配人/ 中村 浩通さん

地元密着型練習場が提供する新たなゴルフの入口

埼玉県新座市にある地域最大級の屋外練習場、ウィンズゴルフステーション新座。地元との共同イベントなどにも積極的に取り組む。また、施設内にオープンしたペーカリーは人気を博しており、ゴルフファンに限らず近隣の人たちが気軽に通ってくる。

このような練習場を運営する(株)武蔵野は、2023年11月に直営のインドア練習場「ウィンズ FAMILY GOLF」を同練習場敷地内にオープンさせた。その経緯や屋内外練習場のハイブリッド運営について、副支配人の中村浩通さんにうかがった。

「昨今、他業界から参入するインドア練習場が増えつつあること、インドア・ニーズの高まりは併設の前提でした」。栃木県にゴルフ場ロイヤルメドウゴルフ倶楽部も所有する同社は、これまでもゴルファーの全てのニーズに応える“ゴルフ村”をテーマにゴルフ事業を展開してきた。「ゴルフへの入り口、練習の場、リアルなラウンド、結果を受けて再び練習へ、この循環を自社施設で生み出した。インドア練習場は、いわばその入り口の強化」として位置付けているという。

マンツーマンが前提のワンポイントレッスン

中村さんによると、インドアなら「人目が気になる初心者や女性のお客様を意識した空間設計や個室の提供も可能です。また、あらかじめ回数などが決まったスクール形式ではなく、より効率的にテクニックが上達するワンポイントレッスン

を導入しやすい。お客様の立場としても、スクール形式より気軽に体験しやすいのではないのでしょうか。そのため、インドア施設はマンツーマンによるワンポイントレッスンを主体に考案しました」とのことだ。このようにアウトドア練習場との違いを施設づくりや提供サービスに反映したという。ウィンズ FAMILY GOLFは完全予約制で、ほぼ毎日インストラクターのワンポイントレッスンが予約可能だ。「不在時間もありますが、圧倒的にレッスン予約が多い」そう。

もともとウィンズの屋外練習場に集まるゴルファーは、グループレッスン中心のスクールではニーズの合わないベテラン中高年層が多い。しかし、「苦手の技術の習得や上手いかわらない部分を改善するには、プロの指導は効果てきめん。半個室にはカメラ機能を搭載したダンロップのSDRを導入しており、インストラクターとお客様が一緒にプレーをリアルタイム映像で確認できます。お客様の映像を見ながらインストラクターがアドバイスするため、お客様も指導内容をすんなり理解できる」と中村さんは話す。

インドア環境の快適さが中上級ゴルファーを呼び込む

同練習場にとってうれしい誤算は、インドア施設が「中上級のゴルファーに支持されていること」だそう。この層は過去の経験から、シミュレーションゴルフに抵抗のある傾向が高いという。しかし、ウィンズゴルフステーションの会員特典として提供する無料体験レッスンの体験から、マシンのよさを実感する方が

多いそうだ。さらに「プロにほしいところだけアドバイスをもらえてスピーディな技術改善ができること、天気や季節に関係ない空間の快適さ——こういったインドア環境にハマる中上級者が、インドア会員様の高い割合を占めています」とのことだ。

この練習場ではお客様のニーズに合うよう、会員の種類はレッスンあり・なし、個室使用のみ、ファミリーなど幅広く用意されている。また、インドア会員は特別価格で屋外練習場を利用できるサービスを提供し、初心者や女性を次の一歩へ導くガイドラインも引いている。

ゴルフ村の循環を生み出すために

ベテランゴルファーたちに支持されるウィンズ FAMILY GOLFだが、目下の課題は「オープン当初に掲げた、新しいゴルファーを創出するための入口施設になること」だそう。

初心者や女性を意識してつくられた空間は、おしゃれで圧迫感がなく、人目は気にせずに練習できる設えとなっている。実際に女性会員は多いが、上手な中高年も多いという。狙うゴルファー予備軍に同施設の良さが伝わるには、もう少しばかり時間がかかりそうだ。

「若年層や女性のお客様の誘致は、ゴルフ業界の課題と感じております。インドアでは高い目標へ向かって一步一步前進しております。ゴルフをこれから始めようとしている方に安心してインドアと屋外練習場の相互利用で楽しんで貰える環境を提供したい」と中村さんは話を締めくくった。



5 完全な個室。このブースではシミュレーターのFULL SWINGまたはTRACKMAN (画像6)のどちらかを選んで練習ができる

■ウィンズ FAMILY GOLF

【基本DATA】
埼玉県新座市馬場4-10-40 ウィンズゴルフステーション新座敷地内
☎ 048-485-1553
🕒 7:00~24:00 ㊟ 年中無休
料金: 会員制 12,500円(税込)~20,000円(税込)/月
※レッスン付きや個室使用可などは会員プランにより異なる
※レディース会員・シニア会員は月会費1000円オフ
※無料体験レッスンあり
●利用方法: スマホとクレジットカードによる決済、スマホ・PCによる完全予約制
[HP] <https://www.winsfamilygolf.com>

【施設DATA】
●打席数: 8打席 (うち個室&左右打席3)
●導入シミュレーター: SDR、FULL SWING、Trackman、GOLFZON、TOURPUTT CIRCLE (パター練習コーナー)
●駐車場: あり (ウィンズゴルフステーション新座共用)

■ウィンズゴルフステーション新座

【基本DATA】
埼玉県新座市馬場4-10-40
☎ 048-479-5005
🕒 4月~11月 6:00~24:00 (火曜8:00~)、12月~3月7:00~24:00 (火曜8:00~、土日祝6:00~)
※フロアにより異なる
㊟ 年中無休 (要確認)
料金: ボール代11円~/1球(税込)。打席料1・2F/500円、3F100円
[HP] <https://www.winsgolf.com>

【施設DATA】
●打席数: 161打席 (うちレフティー10打席)
●フェアウェイ: 300ヤード
●スウィングチェック機(10打席)、バンカー・パター練習場
●駐車場: 300台
●付帯施設: ゴルフショップ、ペーカリー、クライミング施設



7 GOLFZONシミュレーターを搭載した個室。14種類の地形の起伏を再現するデュアルプレートも導入
8 ワンポイントレッスンのインストラクターは現在6名。SDRのカメラ機能を使い、大画面のプレー画像を一緒に見ながら、細かくフォームなどを修正してくれる
9 パットのパターンテスト(グリーン上の映像)、分析機能を搭載したTOURPUTT CIRCLEを設置するパター練習コーナー。プレイヤーの多様なデータを活用し、パット成功率改善のポイントを指示
10 スタンスやガイドボールラインなどがグリーンに示された状態

2024年8月29日

「インドアゴルフ特別部会」発足&座談会

近年、アウトドアゴルフ練習場が減少傾向にある一方で、インドアゴルフ練習場は代替として急成長しています。特にアフターコロナの時代において、インドアゴルフのさらなる発展が期待されています。このような背景の中、アウトドアとインドアのゴルフ練習場の交流と発展を促進するために「インドアゴルフ特別部会」が設立され、各委員による座談会が開催されました。

北岡副会長(以下、敬称略)：本日は全日本ゴルフ練習場連盟(以下：JGRA) 事業推進委員会特別部会といたしまして、インドアゴルフ特別部会の発足の会としてスタートさせていただきます。まず、開会に先立ちまして、JGRA会長の横山よりご挨拶させていただきます。

横山会長：私たちJGRAは、公益団体および産業団体としての立場から、ゴルファーの増加を目指しています。現在、アウトドアゴルフの練習場が減少している中で、インドアゴルフ練習場が代替手段として新たなゴルフ文化の普及のきっかけになることを期待しています。アウトドアとインドア、そしてJGRAの各団体が協力し合うことで、ゴルフ人口を増やすための部会を育てていくことが重要です。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

北岡：このインドアゴルフ特別部会は、東日本事業部の事業推進委員会に属し、全国のインドアゴルフ事業者が参加できるプラットフォームを提供し、有益な情報の供給を目指しています。具体的には、インドアゴルフの経営や運営に関する調査・研究、JGRA会員との情報交流やネットワーク構築、運営ノウハウの研究、資格認定講座の支援、インドアゴルフに関連する課題への取り組みを活動目標に掲げています。委員会は、インドアゴルフの将来的な発展について議論し、現状の課題や集客方法を共有して、個々の意見を反映させることを期待しています。これらの活動を通じて、インドアゴルフのさらなる発展に寄与することを目指しています。

それでは、「これからのインドアゴルフは、どのように発展していくか」をテーマにして、お集まりいただいた委員の皆さまには現状で見えている課題や改善点、集客方法などを踏まえながら一人ひとりお話いただきたいと思います。

永井氏：集客に関しまして、2019年から2020年にかけてWEB広告が効果的だったものの、プレイヤー数の増加に伴いその効果が薄れてきています。特にインドアゴルフ練習場の増加により、他との差別化が難しく、お客さまにその魅力を分か

りやすく伝えることが課題となっています。また、開設から12年が経過しても多くの方が「こんな場所にインドア施設があるのを知らなかった」というほど知られていなくて、ビルの一室にあるため気軽に訪れることが難しいことが集客の大きな障壁となっています。

田中氏：入会者に「なぜウチに入られましたか」という質問に、最も多かった回答が「通りすがり」でした。店舗は地下1階にあります。2ヶ月前に看板を設置したことで認知度が上がって今月の入会数も増加しました。集客方法としては、ティッシュやチラシの配布、SNSの活用が一般的ですが、コストを考慮すると店舗を目立ちやすくすることが最も効果的だと考えています。シミュレーターやレッスン内容は入会後の話で、まずは入会を促すことが最も重要だと思っています。わかりやすい立地や見栄えのいい外観、スタッフの印象がよければ、顧客は「じゃあ行ってみようか」と思うでしょう。そのため店舗のクオリティを高めることも重要だと感じています。

小野木氏：お二人の話を聞いて同感しているのは、視認性が悪い店舗が集客に苦勞することや、低価格のレッスンスクールの存在によって顧客が流れてしまうという点です。そのため、競合との差別化が重要な課題とであるのかなと感じました。

韓国のゴルフ市場では高所得者層しかゴルフ場に通えない現状がある一方で、日本のようにボーリングやカラオケの感覚でシミュレーションゴルフを楽しむ環境が普及しています。日本は会員制が主流で個人練習が多いため、プレイヤーが増えること少ないゴルファーを取り合う状況が生まれ、特に若いゴルファーや初心者を受け皿として機能していないことが問題です。普及を進めるためには会員制のハードルを下げて、気軽に訪れることができる環境を整えることが必要だと感じています。普及のためにはアプローチを変えることが重要ではないかと思っています。

横山会長：アウトドア練習場の良さは、ネットとボールがあれば

自然と広告効果生まれ、練習場の存在が周知される点です。アウトドアとインドアの大きな違いは、アウトドアはわかりやすい広告がある一方で、インドアは自ら集客の努力をしなければならないということです。もう一つ、私も都内でインドア練習施設を経営しておりますが、都心部での集客方法にはまだ試行錯誤がある状況です。都心の競争が激しい中で価格設定が集客に与える影響を日々実感していて、適切な価格帯を見極めることがとても難しいと実感しています。

橋本常任理事：現在、アウトドア練習場からインドア施設への変更を準備中ですが、いまお聞きして会員以外のゲストの迎え方は非常に重要だと思うんですね。特にインドアゴルフにおいてはサブスクリプションの料金設定が大きな課題です。会員専用が高い料金を設定するのか、それともゲストを自由に受け入れるのかによって営業スタイルにも影響が出ます。また、アウトドアゴルフでは新規客が多く訪れる一方、インドアでは客単価が1,500円から1,800円で、月に10日利用すると18,000から20,000円の費用がかかる。サブスクが15,000円の場合、高いと感じる人が多いのが現実で、アウトドアからインドアに移行するのは難しい。インドア初心者をどれだけ取り込むかが鍵となります。

北岡：アウトドアの立場から晝間さんのご意見はありますか？

晝間委員長(以下、敬称略)：そうですね、小野木さんと橋本さんがおっしゃっていたことにすごく同感で、やはりインドアの練習場に行くには会員にならないと通えないですね。だからこそ、若い人たちが面倒に感じないよう、アウトドアの練習場のように気軽に利用できるようなシステムが求められると思います。私のアウトドア練習場はあえて会員制を取らず、SuicaやPASMO、PayPayなどで簡単に入場料やボールを購入できるシステムを導入しています。誰でも同じ料金で利用できるということで、若い人や女性の来場者に多く利用していただいています。ひとつお聞きしたいんですが、インドアゴルフの会員になれる方のビギナーの割合は、ざっくりどのくらいなのでしょう。

永井氏：最近の傾向として、以前は10%台だったビギナーが、いまは20%台に達していて、これはコロナ前後で確実に変わってきている印象です。

桜井氏：そうですね。この数字は顕著に現れていますね。

晝間：それはビギナーにもいい受け皿になっているということですね。

永井氏：そういう意味では、低価格帯のゴルフ場は重要な役割を果たしていて、特に新規客の開拓において大きな価値があると思います。ただ、それだけではダメで新たなゴルファー



(左から) UGRA 晝間事業推進委員長、(UGRA) 北岡副会長、ゴルフアーレ高田馬場(株) ディオントーキョー代表取締役/田中聡氏、(UGRA) 横山会長、ZENGOOLF: ツリーベル(株) 経営企画室/永井潤一郎氏(代理)、森田晋平氏、(株) オールティゴルフ代表取締役/小野木幸雄氏、ZENGOOLF: ツリーベル(株) 経営企画室/桜井義久氏、(UGRA事務局) 大畑 氏

層を形成することも重要です。例えば、韓国ではラウンドを重視する文化がある一方で、日本では練習を重視している傾向があります。このため、インドアのシミュレーターがラウンドの機会を提供できることが新たなニーズを引き出すきっかけになるかもしれない。実際に、ゴルフ未経験者がインドアでの体験を通じてゴルフに興味を持つ可能性も考えられます。新しいゴルファー層を築くためには、インドアだけで完結できるゴルファーの育成が求められるのではないかと・・・。

小野木氏：韓国では、インドアのトーナメントがありますよね？

永井氏：そうですね、そもそもラウンドが高すぎるので、ゴルフはインドアでしか行わない。韓国ではインドアのプロのゴルフツアーがあって、トーナメントをやって賞金も出るんです。そういうふうにならなるとは思いますが、インドアだけで完結できるゴルファーの育成が求められるのではないかと・・・。

田中氏：実は全国のインドア設置店で18Hラウンドモード無料参加型の「OKonGolf ジャパンカップ」を開催したんですが、その結果、なんと約2,000人の会員が集まって参加しました。優勝者にはスポンサーから賞品が用意されて、インドアでのラウンドモードを楽しむ機会が提供されました。このようなエンタメ性が、初心者を引き込んで、ゴルフを楽しむ新たな世界観を提供するんだと実感しました。

北岡：なるほど、「ゴルフ練習場の日」にインドアのイベントを開催するのもいいですね。いろいろな話題があるなかでそろそろ時間となるため、会を締めくりたいと思います。本日はキックオフとして、委員の皆さまから貴重な意見を伺いました。座談会では、インドア施設の集客方法や新規顧客の取り込みに関する事例や課題が多く挙げられましたので、これらを徐々に整理しながら進めていく考えです。皆さま、本日はありがとうございました。

※開催内容の記事文は紙面スペースの都合上、編集割愛しております。



JGRA横山会長から、委員委嘱書の授与式
(左から) (株) オールティゴルフ 代表取締役/小野木 幸雄氏、(株) ディオントーキョー 代表取締役/田中 聡氏、ツリーベル(株)/永井潤一郎氏(森田晋平代表取締役の代理として)



JGRA常任理事/橋下氏(ZOOM参加)

プロフェッショナル
スタッフを目指して

JGRAゴルフフレンジプロデューサーとは？

お客様により楽しく・安全安心な練習環境を提供しつつ、自ら働く環境の向上をリードする存在となる、プロフェッショナルな練習場スタッフの事です。ゴルフフレンジプロデューサーには、ゴルフというスポーツへの理解はもちろん、練習場の基本的な役割やビジネスモデル、ゴルフ市場などの社会的・経済的側面、さらには施設とその安全管理などについて基本的かつ実践的な知識が求められます。

■受講者-file.5

JGRA公認 ゴルフフレンジプロデューサー



桜宮ゴルフクラブ

副支配人 浜谷 晶子さん

【受講者プロフィール】

■勤務歴/20年
■資格/NGFティーチングプロ
■経歴/リゾート施設運営会社に10年以上勤務し、家庭の事情で帰郷。地元の桜宮ゴルフクラブへアルバイト入社、同施設がインショップを併設する際に社員へ。以降、お客様と直接関わるサービス畑を歩いてきた。現在は同練習場が行う初心者スクールの企画やジュニア育成にも当たる。

【店舗情報】

住 所：大阪市都島区中野町2-3-23
営業時間：平日 8:00~22:30
：土日祝 7:00~22:30
HP: <https://sakuranomiyagc.co.jp>
TEL: 06-6882-3553

『実は知らなかった』ことを再認識。 学んだことは、お客様へのサービス向上にも繋ぎたい

●勤務歴20年の浜谷さんは、どのような経緯で「資格認定講座」を受講されたのですか？

弊社では、この講座は社員全員が受けたんです。これは社長からのすすめなんですけれど(笑)。

●そうでしたか。受講されてとくに役立った科目や、これはよかったと思われたことはありましたか？ぜひ、ほかの社員の感想もご存知でしたら教えてください。

受講した社員が口をそろえて言うのは、ほかの練習場のことや自分たちの業務外については知らないことが多いことに気付かされたこと、知らない部分について細かい仕組みも含めてよい確認になったということでした。

科目ですと、例えば「講習科目【2】-2 防球ネット点検と補修方法」は、私個人としても非常に勉強になりました。何しろサービス畑一筋ですから、設備関係について体系だった知識を持っていないのです。災害

が多い今、ネット修理の詳細までわかったのは、今後とても役立ちます。

また、お客様の中には、設備面について質問をされる方もいらっしゃいますので、的確な回答を提供できるという意味でもサービス強化につながると考えています。

●ほかにも今後役立ちそうな内容はありましたか？

ほかの練習場さんの状況や業界展望はなかなか知る機会がなかったので、お客様へのサービスを考えるうえでも参考になると考えています。

何より、講座が非常によく練り上げられていたので、もう1度見返したいし、必要などきに見たい、というのが受講した社員全員の思いです。この講座内容は、これからの新人研修にも非常に役立ちます。できれば、資格認定者は講座の動画をいつでも見られるような特典をつけてくださると、

とてもありがたいのですが(笑)。

●今回習得された知識は、今後どのように活かしていきたいとお考えですか？

繰り返しのようになってしまいますが、まず、お客様へのサービス向上という意味で、フロントスタッフであっても設備面について、お客様からの問い合わせにきちんと説明して対応できるようにしておくことです。今回の講座は動画の中で、多様な内容について「言語化」してくれていました。それらを参考にしたいと思います。

また、私たちの練習場のように規模がそれほど大きくないところでは、新人教育用に総合的な内容を盛り込んだ動画を作るのはとても難しいことです。ですから、JGRAさんに講座内容の一部でも社内研修に貸し出していただけるような仕組みを検討していただけると、本当に助かります。

取材日/2024年8月5日

【第6期】ゴルフフレンジプロデューサー資格認定講座 受講生募集!

詳細は、JGRA公式サイト特設ページでチェック! ▶▶▶ <https://www.jgra.or.jp/grp>



2024年

女性ゴルファーの普及活動

6/6火は「女性ゴルファーの日」

Women's Golf Now [上期] 開催報告

JGRA連盟活動にご協力頂きましてありがとうございます。JGA×JGRAコラボ企画「Women's Golf Now」上期開催(6/6開催)は、多くのJGRA会員様のご協力により無事開催することが出来ました。

開催会場では、各種のイベントツールを通じて(レッスン会・抽選会・その他)女性ゴルファー普及活動への一歩となり、多くの新しい女性ゴルファーが生まれるきっかけづくりとなりました。ご協力・ご参加いただきました施設様には、誠にありがとうございました。女性ゴルファーの普及活動には、全国の会員施設様、スタッフの皆様方のご協力が必要です。多くの練習場での女性ゴルファーの普及活動に、今後ともご協力をお願い申し上げます。

♥♥♥♥イベント開催施設の風景♥♥♥♥



(左)高松青春ゴルフセンター様(右)クラウンゴルフクラブ様のイベント風景



2024 9/26 Women's Golf Now [下期] 開催のお知らせ

今年度、第2回目(下期)を2024年9月26日(木)に開催致します。
※詳しくはJGRAホームページをご覧ください

2024.7 「女性部会 結成」のお知らせ



(左から)吉澤亜由美さん(樂山パブリックゴルフコース・練習場)/岡田和泉さん(グリーンパークゴルフセンター)/三宅美知子さん(目黒ゴルフ練習場・コモゴルフアースアカデミー)/坂東恵枝美子さん(新富ゴルフプラザ)/稲垣理恵さん(青木ゴルフパーク)

7月23日、全日本ゴルフ練習場連盟に加盟されている女性経営者5名による初の「女性部会」結成の決起会が開かれました。そこで部会長に就任された三宅理事に、部会起ち上げを決意された動機や目的などを伺いました。

三宅理事：今ゴルフ業界において、男性ゴルファーが大多数を占めているように思われて

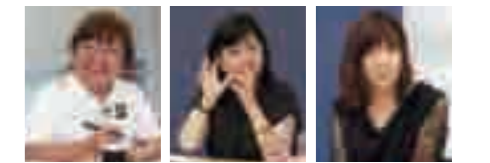
います。しかし、女性ゴルファーが決して少ないわけではありません。その方々に向けて、もっと女性目線でゴルフの魅力を伝えることで女性ゴルファーを増やして、男女のバランスを是正したいと思いました。

先日もある部会に参席しましたが、男性中心で女性視点の提案がなく、真に女性の気持ちを汲んで考えておられるのか疑問を感じました。こうした場においても、女性ならではの気づきや共感力を発揮できれば新たな視点でゴルフの魅力を伝えられるのではと考え、この度「女性部会」を結成した次第です。

今後の部会としての活動内容としましては、まず以下の5項目を作成。①定期的な部会ミーティングの実施。②関東ゴルフ練習場連盟(KGRA)理事会にて女性経営者部会として提言・活動報告。③JGRA会報誌に女性

部会コラムを連載(2月/9月発行)。④「Women's Golf Now」の促進。⑤「ゴルフであそぼう!」をテーマに新しいゴルフの魅力づくりの発信。

こうした地域活動をベースに部会を通しての情報交換や交流を図りながら、ゴルフを通じた地域発展の一翼を担う部会にしていきたいと思っています。



取材日/2024年7月23日



2023年度(第17回)表彰制度

【最優秀賞】/【優秀賞発表】!!

2023年度「第17回表彰制度」は、応募期間を2023年8月1日～12月31日までとさせていただきます。エントリーは、経営部門6件、維持管理3件、サービス部門10件の合計19件の応募をいただきました。有難うございました。すべてのエントリーは、審査委員会(JGRA常任理事と表彰制度委員長)により厳正な審査を行わせていただき、2024年3月8日～10日開催の「ジャパンゴルフフェア2024」初日の「JGRAビジネスセミナー2024」内(3月8日)で発表致しました。「最優秀賞」と各部門の「優秀賞」は、以下の通りとなりました。

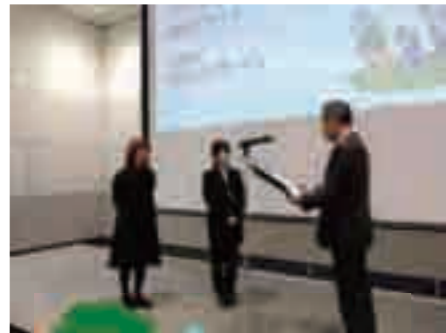
最優秀賞

JGRA2023年度 表彰制度

青谷ゴルフガーデン(大阪府)

5 経営部門

「ラジオ体操で健康寿命を伸ばそう！」



【概要】

青谷ゴルフガーデンではお客様の健康の取り組みとして平日の朝9時にラジオ体操を流しています。平日の朝は高齢者の方が多く1日でも長くゴルフを楽しんでいただきたいという願いを込めて、インストラクターの先生や支配人を筆頭にお客様と一緒に朝のラジオ体操を続けていました。今年の10月11日にコロナも明け、地元の中学生の職業体験実習が再開されました。「元気で明るい中学生と一緒に参加しますので是非ご参加ください!」と呼びかけましたところほぼ全員の方がラジオ体操に参加してくれました。これをきっかけに毎日多くの方に参加してもらえようになり喜んでもらっています。これからこの状態が続くようお客様と共に頑張ろうと思えます。



優秀賞

JGRA2023年度 表彰制度

桜宮ゴルフクラブ(大阪府)

10 サービス部門

「20代の朝活レッスン会」



【経緯】

コロナ禍で再びブームを巻き起こしたゴルフ。平日の昼間から社会人や学生など若い人が沢山来てくれるようになり、この増えた若者がどれだけゴルファーとして残ってくれるのか?できることならば!ゴルフの楽しさを知って沢山の若者にずっとゴルフを続けて欲しい!と思ったものの...従来のスクールでは敷居が高いんだらな...と。なかなか本気じゃないと即、入会にはつながらないよな。でもちょっと教えてもらっただけですぐ変わるんだけど...「なんや面白くない!難しいやん!当たらへんやん!飛ばへんやん!その割には静かにしろとか、うるさいし。メンドクサイ...」なんて思っただけでほしくない!...からのスタート。若者へのきっかけ作り。リーズナブルに、でも安すぎず。気軽にTRYできる環境を提供したら若者は集まってくるんだらうかと考えた時に、同世代の若いプロならとっつきやすいかな?話しやすいかな?来やすいかな?参加してみようかな?と思ってくれるだろうか?エントリーだけでも来る気があるガッツのある若者をターゲットに。支払いは事前に。寝坊して来なかったらキャンセルとして頂く。ゴルファーとしては当たり前、これも知ってもらいたいところ。成功するかどうかはやってみないと解らないなかで時間帯、一般打席との兼ね合い、プロの時間、料金と何がベストか?できるだけ理想に近づけて実施したい。

【成果】

スタートを6月とし集客から実施まで1カ月。土曜日の7時オープンに合わせて7時15分スタート8時半までの1時間15分。MAX10名募集。プロは20代2名で担当。レンタルクラブは無料。申込み時に支払いを持って予約完了。料金は2500円、打ち放題。申込時にレベル、レフティーの確認。初心者から上級者まで対応。集客方法は1月1回のニュースレター、SNS、フロント受付時に20代にPOPを手渡しで6月24日に実施で6月から集客開始したと

る10日目で9名集客。当日は満席と案内スマートに集客ができて正直驚きました。朝早いのに?特別安くないのに?が正直な感想でした。初心者半分、1~5年半分、男性8名女性2名。レンタルクラブは6名の方が必要。当日は無断キャンセル1名(集金済)でしたがスタート時には9名集合し、スタート打席はレベル順に案内し準備運動して時間までお待ちいただき、私の方から朝の挨拶後、プロ紹介してスタート。意外と全員が一人参加でした。2人のプロを受けて欲しいので半時間でプロの交代、初心者についてはグループレッスン形式で行いました。全員一生懸命で楽しそうにレッスンを受けており、若い子たちが朝早くから集まって頑張ってる姿はとてもいい景観でした。終了時間に再度集合してこれからはゴルフを楽しんで続けて欲しい思いを伝え、プロからの所見もお願いし、お試しスクールや初心者スクールの案内をしました。集客も問題なく20代の早期のレッスン会は需要があることが結果解ったので、毎月1回開催することを決定しました。

11月迄計6回実施し、募集55名MAXのところ定員割れは1回もなく受講者は47名。朝活のリピーターは3名で2名が2回、1名が3回のエントリー。今後も20代限定ミッションを継続していく必要性を強く感じた企画となりました。



優秀賞

JGRA2022年度 表彰制度

フラッグスゴルフスクール(埼玉県)

「フラッグスコーチアワード」

3 経営部門



【概要】

フラッグスゴルフスクールでは、毎年、スクール生皆様に向けて《コーチアワード》を開催しております。ポスターやLINEでスクール生に呼びかけ、1年間を通して最も輝いたコーチの人気投票を行なっております。生徒の皆様楽しんでいただくことと同時にコーチの意識向上や別会場のコーチに対する認識をより広めゴルフコンペやイベントの際に交流を促す企画となります。最も票数を獲得した、上位2名には最優秀賞と優秀賞また賞状と賞品を授与し、HPやLINEにて発表しております。生徒様からは「いつもレッスンをしてくれるコーチを応援したい!」「担当コーチ以外も知れる良い機会だった」「他の会場にも足を運んでみたいと思った」などのお声をいただきました。結果的に多くの生徒様にご参加いただきコーチだけではなく生徒様同士の交流とスクール継続率にも繋がりました。

優秀賞

JGRA2023年度 表彰制度

井高野ゴルフセンター(大阪府)

3 維持管理部門

「常夜灯 コンセントプラグ化」



【事実】

災害で営業中の夜間に停電になった際に施設内の明かりが無くなる事により、避難時に二次災害が起こる可能性があり、施設に滞在中のお客様も不安になってしまう。

【気付き】

打席全ての照明が点灯できない緊急時でも、10打席に1台ある常夜灯を発電機で点灯できるように配線を改造しました。

【成果】

万一の夜間の営業時にも真っ暗な状態にならない仕組みにし、お客様の不安を少しでも和らげる事が出来るようにしました。避難誘導をスムーズに行えるように施設内の必要な所に従業員用のヘルメット、トーチメガホンを常設しました。

★審査委員特別賞 「ワンポイントお悩み解消カードで、継続率アップ」 ゴルフガーデンナイスイン(秋田県)

第17回 JGRA表彰制度 エントリー案件一覧

< 詳細はJGRAホームページ「第17回表彰制度」ページをご覧ください >

No.	エントリー部門	地域ブロック	練習場連盟	エントリータイトル
1	サービス	東北	ゴルフガーデンナイスイン	ワンポイントお悩み解消カードで、継続率アップ ★審査委員特別賞★
2	サービス	関東	Zuum Golf	プロ研修でレッスンクオリティをブラッシュアップ
3	サービス	関東	Zuum Golf	顧客満足を高めて笑顔広がるスタジオへ
4	サービス	関東	ウィングスゴルフステーションズ新座	来場者のリピート向上
5	サービス	関東	加藤農園ゴルフリンクス	お客様とのコミュニケーション
6	サービス	関東	加藤農園ゴルフリンクス	ゴルフを始められたお客様へゴルフ練習法をご提案
7	サービス	関西	ニックゴルフスクール 加古川	フロントスタッフ企画営業での1泊2日ラウンド「ゴルフ合宿」
8	サービス	関西	東香里ゴルフセンター	海外、国内ゴルフレッスンツアー
9	サービス	関西	青谷ゴルフガーデン	七夕の世で地元施設とふれあい
10	サービス	関西	桜宮ゴルフクラブ	20代の朝活レッスン会
1	維持管理	東北	ゴルフガーデンナイスイン	音のなるボールギャザーに改良してクマよけ対策!
2	維持管理	関東	ウィングスゴルフステーションズ新座	毎週火曜日は地道な環境整備活動
3	維持管理	関西	井高野ゴルフセンター	常夜灯コンセントプラグ化
1	経営	東北	ゴルフガーデンナイスイン	スクール生集客
2	経営	関東	ウィングスゴルフステーションズ新座	ボール貸出機をラッピング
3	経営	関東	フラッグスゴルフスクール	フラッグス・コーチ・アワード
4	経営	関西	桜宮ゴルフクラブ	2024防災対策の強化
5	経営	関西	青谷ゴルフガーデン	ラジオ体操で健康寿命を伸ばそう!
6	経営	関西	井高野ゴルフセンター	毎月の業務改善の提案

表彰制度にエントリーを!

惜しくも受賞を逃したものの驚きのアイデアが集合!エントリーしてくださった練習場の知恵と工夫をシェアします。是非、今後の練習場経営のご参考とされてみてはいかがでしょうか?詳しくはJGRAホームページもご覧ください。



2024

11月3日祝は「ゴルフ練習場の日」

イベント開催のお知らせ！



プレゼント抽選キャンペーン 参加練習場募集！

(公社)全日本ゴルフ練習場連盟では、今年も11月3日は「ゴルフ練習場の日」全国キャンペーンを開催いたします！前年同様、練習場様のお客様を対象にしたプレゼント抽選キャンペーンを準備しております。昨年は全国から1,733通の応募がありました。

このキャンペーンは、お客様への感謝とゴルフ普及活動に繋げるキャンペーンです。是非とも多くの練習場施設様のご参加をお願いいたします。(キャンペーンについて詳しくは、JGRAホームページからご覧ください)

2024「ゴルフ練習場の日」キャンペーンプレゼント内容

- 1等** リゾートホテル&リゾートペア宿泊券 **10名様**
- 2等** ダンロップゴルフボール ゼクシオリバウンドドライブ2 <1ダース> スリクソン XmaX <1ダース> 各ボール林家たい平師匠オリジナルイラスト入り **各10名様**
- 3等** 林家たい平師匠オリジナル チップマーカー2枚 **202名様**
- 特別賞** 日本オープンオリジナル キャディバック **1名様**
- 特別賞** 全日本ゴルフ練習場連盟 各ブロック賞 地域名産品 **7名様**
(北海道、東北、関東、中部、関西、中四国、九州)



キャンペーンを伝えるアイコンに、アンバサダーとして昨年同様に「林家たい平」師匠にご就任いただきました。

前回ご参加いただけなかった練習場様も、是非今回のイベントにご参加をご検討ください。

昨年アンケートから

・文化の日とゴルフ練習場の日が同じだとは知らなかった。(60代男性)・今後もプレゼント企画をお願いします。(60代男性)・良い企画ですね!(50代男性)・もっと利用客に得になる企画の配信をお願いします。(60代男性)・最近のゴルフ練習場は女性に配慮があって良いと思う。(50代女性)・もう少し前からキャンペーンをやった方が良い。(60代男性)・林家たい平師匠大ファンです。(30代女性)・おすすめ商品などのイベントを多く実施してください。(50代女性)・日本初の練習場は何処でしょう。(50代女性)・昨年練習場で頂きたい平師匠のマーカー使用してます!(50代女性)・ゴルフ関連の日が増えたら良いです(30代女性)・いつも通っている練習場で知りました。こうやってゴルフ練習場が活気づいているのはうれしいです。(20代女性)・ゴルフの素晴らしさをみんなに知ってほしい!(30代男性)・あまり周知されてません。もっと盛り上げたいですね!(50代女性)・ゴルフ人口が増えることは良いことですがもっとマナーを教える場があったら良い(40代女性)・こういったイベントでゴルフが盛り上がるとうれいですね(60代女性)・このようなキャンペーン今後も続けてください(50代女性)・11/3に練習場にきて、ポスターを見かけて応募しました!ゴルフ練習場の日だとは知らず練習にきたので なんだか嬉しかったです!(30代女性)・毎週ゴルフ練習していますが中々上達しません。イベントが沢山あると励みになります。頑張ってください。(50代男性)・コロナ禍を経て同世代たちの多くがゴルフを始めました。コロナ以前よりも練習場のプロモーションが 熱心になったり、キャンペーンがあったりととても環境が良くなった気がします! これからも仲間たちとゴルフを続けていきたいです!(20代男性)・毎年、ゴルフ練習場の日にはゴルフ練習に行きます。(50代女性)・私の若い頃は、ゴルフはおじさんのスポーツという感じで全然興味がなかったのですが、今は若い人や私のように還暦を迎えてからは始める人が多くなったように思います。(60代女性)・練習場でのイベントではお子さんや家族連れなど、普段ゴルフに携わることのない方々が来場でき、ゴルフに触れられる素晴らしい機会だと思いました。(40代女性)・土曜日と日曜日の朝は、ゴルフの練習を毎週行ってます。夫婦でゴルフを始めたので二人で互いのスイングを動画でとって楽しく練習場通っています!(40代男性)・なんとか人並みに上手になりたいと思ながらゴルフをやって40数年になります。いつまでも元気でゴルフができるよう健康に気をつけて頑張ります。(70代男性)・ゴルフ練習場もきれいなところが増えて、女性も気軽に立ち寄れる場所になった。益々PR増やして頂き活性化を期待します。(40代男性)



入会金 無料

期間限定(2年間)正会員

<2024年4月~2026年3月迄>

新規入会キャンペーン募集中!

ゴルフ練習場

インドア施設

ゴルフスクール

- 全国のゴルフ練習場会員の方々と情報交換のチャンスです!
- 地域連盟の方々とネットワーク構築ができます!
- 練習場経営に役立つセミナー、全国統一キャンペーン、ジュニア活動のご案内!
- 多くのインドア施設会員様にもご入会頂いております! インドア施設様の勉強会、ネットワーク構築を応援します!



全国の会員の方々と懇親ゴルフ会



ジャパングルフフェアでのセミナー

(今回の期間限定入会キャンペーンにお申し込みされると、 JGRA・各地域ゴルフ練習場連盟に同時正会員となります。)



入会までの流れ

入会希望事業者様

JGRAホームページまたはメール、FAXにて入会申込

(公社)全日本ゴルフ練習場連盟

連盟内で新規入会情報共有

各地域ブロック・ゴルフ練習場連盟

理事会にて承認後、事務局より入会手続き完了のご連絡

入会完了

入会希望事業者様

新規入会キャンペーン内容

- 対象 / ゴルフ練習場 (アウトドア・インドア)・ゴルフスクール運営会社
- 入会金 / 無料
- 年会費 / <1年目> : 20,000円 <2年目> : 20,000円
(2024年度分) (2025年度分)
※JGRA・各地域ゴルフ練習場連盟含む
- 会員期間 / 2024年4月1日~2026年3月31日
- 会員特典 / JGRA会員証、会員価格でのご利用(セミナー、資格認定講座など)、制作物の無料配布(ポスター、マニュアル等)、ジュニア検定会の開催、JGRA及び各地域ブロック連盟からの情報提供など
※会員特典には別途諸条件があります。
- 申込方法 / 下記、JGRAホームページ参加申フォームからご登録いただくか、申込用紙をご記入の上、E-mailまたはFAXにて事務局宛にご送付ください。
- その他 / ご入会后、各地域連盟からご請求書をお送り致します。
2026年のキャンペーン期間終了前に、各地域ブロックより正会員にて継続可否の確認をさせていただきます。

<お問い合わせ> 公益社団法人 全日本ゴルフ練習場連盟 (事務局)

TEL.03-5772-3821 FAX.03-5772-3822

E-mail : info@jgra.or.jp

各地区練習場連盟のお問合せ先(連絡先)はP33のJGRA各ブロック情報に記載されています。

お申込みQRコード

→こちらのQRコードからもお申し込みができます。ご利用ください。





— 定期的なハイレベルな戦いと交流の場でステップアップを! —

各ブロックでは練習場で働く研修生のゴルフ技術と質を向上するため、研修会を定期開催しています。プロとして身につけたい最新の指導法やルール、業界知識を学ぶことができます。また、セミナー活動によるプロフェッショナル人材育成なども開催を予定しています。

2024年度 研修会実績表

・北海道ブロック・東北ブロック・関東ブロック
・中部ブロック・中四国ブロック・九州ブロック

開催日	2024年 5月28日 (火)	2024年 6月25日 (火)	2024年 7月30日 (木)
北海道ブロック 実研修表会	コース 真駒内カントリークラブ 空沼C	滝のC.C 中→西	羊ヶ丘C.C
	スコア順位		
	多田 真美子(女子) 79	合掌 正貴 73	保坂 崇仁 77
	笹森 貴美雄 80	笹森 貴美雄 76	川村 宏治 77
	福田 義希 82	瀧野 俊樹 77	瀧野 俊樹 80
	保坂 崇仁 83	多田 真美子(女子) 79	多田 真美子(女子) 80
	瀧野 俊樹 83	佐々木 伸 83	笹森 貴美雄 80



開催日	2024年 3月13日 (水)	2024年 4月18日 (木)	2024年 5月17日 (金)	2024年 6月13日 (木)
中部ブロック 実研修表会	コース 中日カントリークラブ	スプリングフィールドゴルフクラブ	レイクグリーンゴルフ倶楽部・みさのコース	さなげカントリークラブ
	スコア順位			
	高橋 周平 73	上田 敦士 67	朝倉 駿 68	奥田 智也 63
	矢形 和也 75	近藤 大暉 70	中川 将太 68	藤本 翔 65
	藤田 尚人 75	中川 将太 70	飯田 耕正 68	岩淵 輝起 66
	山本 明秀 76	奥田 智也 72	大澤 和也 69	矢形 和也 67
	堀 浩恭 76	藤田 尚人 74	矢形 和也 71	藤田 尚人 68
	岩淵 輝起 76	矢形 和也 74		木下 大海 68



開催日	2024年 4月18日 (木)	2024年 5月16日 (木)	2024年 6月20日 (木)	2024年 7月18日 (木)
東北ブロック 実研修表会	コース 表蔵王国際G.C	谷富G.C	泉国際G.C	社の公園G.C
	スコア順位			
	内海 将太 72	伊藤 慶隆 73	土屋 晃範 72	伊藤 慶隆 74
	結城 義則 75	内海 将太 77	伊藤 慶隆 74	内海 将太 74
	藤山 雄三 78	宮川 大 79	後藤 博史 74	宮川 大 77
	伊藤 慶隆 79	沼倉 達彦 79	関根 孝二 74	藤山 雄三 80
	土屋 晃範 80	白鳥 茂 79	内海 将太 75	大和 静佳 80



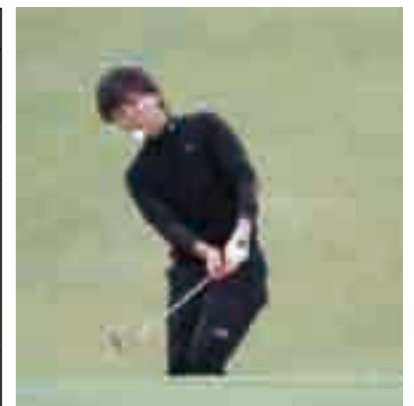
開催日	2024年 4月11日 (木)	2024年 4月12日 (金)
中四国ブロック 実研修表会	コース 鷺羽ゴルフ倶楽部	鷺羽ゴルフ倶楽部
	スコア順位	
	文山 宏一 69	入江 広志 71
	入江 広志 76	久保田 光治 74
	久保田 光治 77	薦 宣彦 77
	三好 正己 78	村上 博亮 78
	迫田 修 79	村上 裕章 78
	福本 匡史 79	



開催日	2024年 3月4日 (月)	2024年 4月25日 (木)	2024年 5月29日 (水)	2024年 6月26日 (水)
関東ブロック (競技会実績表)	コース 日高カントリークラブ	芳賀カントリークラブ	勝浦東急ゴルフコース	サザンヤードカントリークラブ
	スコア順位			
	加治屋 舜介 69	鈴木 海斗 67	三木 龍馬 63	川上 猛鳴 65
	生駒 怜児 70	中川 悠 67	山本 太郎 66	大関 翔 66
	鈴木 海斗 71	永井 哲平 68	岩間 貴弘 68	安部 高秀 66
	永井 哲平 71	山本 太郎 69	溝口 雄太 68	山本 太郎 68
	篠崎 響 71	小椋 啓貴 69	大和久京二郎 68	加治屋 舜介 69



開催日	2024年 3月13日 (水)	2024年 4月17日 (水)	2024年 5月29日 (水)	2024年 6月26日 (水)
九州ブロック 実研修表会	コース 筑紫ヶ丘ゴルフクラブ	西戸崎シーサイドカントリークラブ	ミッションバレーゴルフクラブ	久山カントリー倶楽部
	スコア順位			
	秋山 卓也 71	山部 拓斗 67	新里 剛 73	米倉 健太郎 69
	小野 雅瑛 76	小野 雅瑛 73	米倉 健太郎 74	小野 雅瑛 71
	米倉 健太郎 77	山部 泰樹 73	小野 雅瑛 76	永田 吉秀 72
	米嶋 稔 77	玉城 幸弥 75	山部 泰樹 76	山部 泰樹 74
	山部 泰樹 79	織掛 和郎 75	濱田 和也 77	山部 拓斗 77



開催日	2024年 3月2日 (金)	2024年 4月12日 (金)	2024年 5月10日 (金)	2024年 6月7日 (金)
関西ブロック 実研修表会	コース サンロイヤルゴルフクラブ	小野グランドカントリークラブ	奈良柳生カントリークラブ	有馬ロイヤルゴルフクラブ
	スコア順位			
	富永 球道 70	上原 忠士 68	清野 一也 69	三好 洋平 69
	森田 就子 71	J.H.CHUN 70	西岡 風佳 70	上原 忠士 69
	柿木 淳平 73	金川 伍 71	前田 衣里奈 71	深江 秀典 70
	竹田 慎之介 74	児玉 健太郎 72	中妻 駿介 71	鈴木 保弘 71
	前田 衣里奈 75	富永 球道 72	神原 諒 71	児玉 健太郎 72



プロフェッショナルメンバー研修会 参加者募集のお知らせ

トーナメントプロになりたい・ゴルフスクールを運営したい
ゴルフを教えたい・ゴルフ業界で働きたい・ゴルフ専門家を目指したい

(公社) 全日本ゴルフ練習場連盟「研修会会員選抜」大会

全国7ブロック所属の研修会会員から選抜された代表による競技会であり、会員の技術と質の向上を図るため、年1回開催しています。参加者の上位には賞金を授与しています。

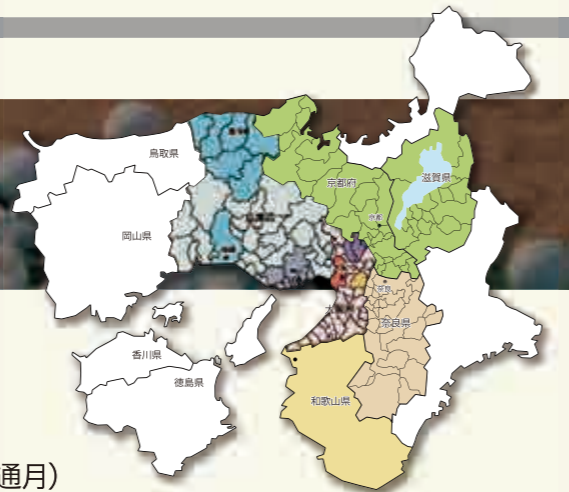
※入会方法・開催予定日・開催要項など詳しくは事務局まで、お問い合わせください



関西地域 / 景況報告

関西ゴルフ練習場連盟

- 京都・滋賀
- 北摂
- 京阪・奈良
- 大阪・東大阪
- 阪南・和歌山
- 東阪神
- 神戸
- 姫路・但馬



関西ゴルフ練習場連盟 2023年度 営業成績 レポート一覧表(通月)

●対前年売上比率 報告場数● 2024年1月18日

ブロック		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	通期
京都 滋賀	対前年売上比率															
	報告場数															
北摂	対前年売上比率	91.6	88.7	91.8	92.2	84.8	90.9	90.0	90.9	94.0	100.1	100.1	102.2	99.3	97.0	93.5
	報告場数	6	6	6	6	6	6	6.0	6	6	6	6	6	6	6.0	6.0
京阪 奈良	対前年売上比率	91.3	89.5	88.3	90.0	79.5	88.7	87.9	93.9	97.9	104.1	104.1	104.3	111.2	99.7	93.8
	報告場数	4	3	5	5	3	3	3.8	5	3	5	5	4	3	4.0	3.9
大阪 東大阪	対前年売上比率	95.6	88.0	95.4	94.2	85.8	91.3	91.7	90.9	90.2	94.1	94.1	98.2	94.5	94.9	93.3
	報告場数	5	5	5	5	5	5	5.0	5	5	5	5	5	5	5.0	5.0
阪南 和歌山	対前年売上比率	96.1	92.2	92.7	92.1	86.9	85.6	90.9	88.8	87.6	96.8	96.8	97.2	94.5	94.2	92.6
	報告場数	6	5	6	6	6	5	5.8	5	5	6	6	6	6	5.8	5.8
東阪神	対前年売上比率	94.7	91.2	101.6	95.6	88.3	97.2	94.8	91.2	89.2	134.4	134.4	303.9	198.8	173.2	134.0
	報告場数	6	6	6	6	6	6	6.0	6	6	6	6	6	6	6.0	6.0
神戸	対前年売上比率	87.9	87.4	89.1	94.5	85.3	92.2	89.4	92.0	109.9	103.2	103.2	102.7	101.6	99.4	94.4
	報告場数	4	4	4	4	4	4	4.0	4	4	3	3	4	4	3.8	3.9
姫路 但馬	対前年売上比率	97.2	92.8	100.6	95.4	85.4	90.6	93.7	86.8	92.4	94.7	94.7	92.0	101.4	94.3	94.0
	報告場数	5	5	5	5	5	5	5.0	5	5	5	5	4	5	4.8	4.9
平均	対前年売上比率	93.5	90.0	94.2	93.4	85.1	91.2	91.2	90.6	94.5	103.9	103.9	128.6	114.5	107.5	99.4
	報告場数	36	35	37	37	35	34	35.7	36	34	36	36	35	35	35.5	35.6

関西ゴルフ練習場連盟 2024年度 営業成績 レポート一覧表(通月4月-6月)

●対前年売上比率 報告場数● 2024年7月19日

ブロック		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	通期
京都 滋賀	対前年売上比率															
	報告場数															
北摂	対前年売上比率	97.2	99.4	102.9												
	報告場数	6	6	6												
京阪 奈良	対前年売上比率	106.3	100.4	104.3												
	報告場数	4	3	5												
大阪 東大阪	対前年売上比率	91.9	95.4	98.9												
	報告場数	5	5	5												
阪南 和歌山	対前年売上比率	94.7	93.2	99.4												
	報告場数	7	7	7												
東阪神	対前年売上比率	105.3	106.4	108.9												
	報告場数	5	5	5												
神戸	対前年売上比率	97.7	93.7	99.6												
	報告場数	4	4	4												
姫路 但馬	対前年売上比率	93.9	94.7	98.7												
	報告場数	6	5	6												
平均	対前年売上比率	98.1	97.6	101.8												
	報告場数	37	35	38												

2024年度 営業成績(曜日別) No55号付帯資料 ※注 計算式の都合上、平均値で通月のデータと若干の誤差が出ています、ご了承ください

ブロック		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	11月	12月	1月
北摂	通月	97.2	99.4	102.9							
	平日	104.5	101.1	98.4							
	土	107.3	97.2	107.6							
	日・祝	101.0	101.4	100.7							
報告場数	6	6	6								
京阪 奈良	通月	106.3	100.4	104.3							
	平日	107.1	104.2	101.0							
	土	112.4	111.9	114.5							
	日・祝	111.5	93.8	99.3							
報告場数	4	3	5								
大阪 東大阪	通月	91.9	95.4	98.9							
	平日	97.3	92.1	96.7							
	土	95.6	95.3	98.0							
	日・祝	82.0	98.9	101.4							
報告場数	5	5	5								
阪南 和歌山	通月	94.7	93.2	99.4							
	平日	103.1	94.1	97.2							
	土	88.4	88.7	102.3							
	日・祝	84.8	96.5	106.0							
報告場数	7	7	7								
東阪神	通月	105.3	106.4	108.9							
	平日	108.7	105.6	106.5							
	土	115.3	106.8	103.7							
	日・祝	97.7	113.4	103.7							
報告場数	5	5	5								
神戸	通月	97.7	93.7	99.6							
	平日	117.5	99.7	107.1							
	土	94.3	92.0	103.0							
	日・祝	87.8	89.5	101.5							
報告場数	4	4	4								
姫路 但馬	通月	93.9	94.7	98.7							
	平日	103.2	96.8	98.1							
	土	90.0	95.3	109.2							
	日・祝	85.5	91.5	99.0							
報告場数	6	5	6								
平均	通月	98.1	97.6	101.8							
	平日	105.9	99.1	100.7							
	土	100.5	98.2	105.5							
	日・祝	92.9	97.9	101.7							
報告場数	37	35	38								

関東地域 / 景況報告

関東ゴルフ練習場連盟

- 東京23区 / 東京23区外 / 神奈川 / 埼玉 / 千葉 / 静岡
- 茨城 / 群馬 / 栃木 / 新潟 / 山梨



関東ゴルフ練習場連盟2023年度/下期(7月-12月 前年度休業施設含まず) 営業成績レポート

●利用者数・ボール売上・スクール生徒数 対前年比 比較表● 2024/1/23

地区	対前年比	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下期平均	年間平均
回答数		40	41	43	41	40	39	41	41
1 東京 23区内	利用者数	95.8	88.3	87.3	92.8	96.6	98.9	93.3	95.1
	ボール売上	99.8	91.7	83.7	89.9	90.7	105.1	93.5	94.2
	スクール前年比	99.1	99.4	98.5	98.2	98.7	98.9	98.8	99.3
2 東京 23区外	利用者数	109.1	106.7	104.0	108.5	109.2	114.2	108.6	109.9
	ボール売上	110.2	106.9	104.4	111.5	110.1	116.8	110.0	112.0
	スクール前年比	119.9	114.5	90.0	72.8	121.7	79.5	99.7	108.3
3 東京都 合計	利用者数	101.5	95.2	93.6	98.7	101.3	104.6	99.2	100.8
	ボール売上	104.3	97.4	91.5	98.0	98.0	109.5	99.8	101.0
	スクール前年比	107.4	104.4	95.7	87.3	106.3	90.6	98.6	102.3
4 神奈川	利用者数	92.8	88.2	87.9	92.8	96.5	99.8	93.0	94.1
	ボール売上	90.3	87.7	88.1	94.7	95.6	96.9	92.2	93.7
	スクール前年比	92.8	91.0	88.9	91.4	91.8	95.0	91.8	92.8
5 埼玉	利用者数	93.0	91.6	90.5	95.0	95.6	105.4	95.2	97.4
	ボール売上	91.8	92.0	88.0	94.2	95.5	104.5	94.3	94.6
	スクール前年比	91.6	93.1	91.3	88.0	92.4	96.5	92.2	94.6
6 千葉	利用者数	92.6	89.1	89.0	93.9	92.9	103.3	93.5	95.4
	ボール売上	106.5	89.2	90.6	98.0	97.9	112.2	99.1	98.4
	スクール前年比	90.9	93.4	92.6	94.6	99.7	97.0	94.7	95.2
7 静岡	利用者数	95.0	90.0	94.4	93.6	98.1	105.0	96.0	97.4
	ボール売上	93.8	89.1	92.3	91.4	99.4	84.1	91.7	94.8
	スクール前年比	119.9	98.6	79.7	96.3	108.1	105.6	101.4	105.0
8 茨城/群馬 /栃木/新潟 /山梨	利用者数	94.7	89.2	91.5	100.3	95.5	117.5	98.1	97.0
	ボール売上	94.5	85.6	90.2	93.2	94.8	109.4	94.6	96.7
	スクール前年比	101.5	174.6	103.2	102.2	77.0	134.9	115.6	108.5
関東練習場全体平均	利用者数	94.8	90.7	90.8	95.5	96.5	105.0	95.6	96.6
	ボール売上	97.4	90.7	90.1	95.3	96.9	103.6	95.7	96.7
	スクール前年比	97.8	101.6	91.9	91.8	97.4	98.3	96.5	97.6
※ 関東 インドア 平均	利用者数								
ボール売上									
スクール前年比	105.6	105.3	103.1	99.1	96.8	95.6	100.9	104.9	

※練習場利用者が対前年度比を上回った施設数

2023年12月コメント

○12月は昨年比べて天候に恵まれ、暖かい日も多かったため、久しぶりに前年を上回っている施設が多かった。年末年始も天候は安定していたので、入場者は悪くなかった様です。○利用者数は報告数37施設の内、対前年を上回った施設は26施設70%になっています。○ボール売上は報告数36施設の内、対前年を上回った施設は9施設25%になっております。○スクール生徒数は報告数26施設の内、対前年を上回った施設は10施設38%を上回っております。

[第1号議案]：2023年度貸借対象表及び正味財産増減計算書のご提案

去る2024年6月19日(水)15時より、北海道札幌グランドホテル東館3階「玉葉」の間にて「2024年度通常総会」を開催しました。冒頭、事務局により、会員総数596場(2024年5月31日現在)に対して出席者数433場(会場参加48場、WEB参加22場、委任状363場)となり、定足数に達している旨の報告とともに本総会の成立が確認され、定款により、横山雅也会長が議長となり議事進行へととなりました。

今年度の議案として、決議事項は「第1号議案：2023年度貸借対象表及び正味財産増減計算書のご提案」のみが提出され、北岡副会長からの説明のあと、審議の結果、満場一致で承認可決されました。

その後、報告事項として既に今年の3月と5月の理事会にて承認された「2023年度事業報告書」「2024年度事業計画書」「2024年度収支予算書」が業務執行理事4名(川崎副会長、太田副会長、新井専務理事、橋本常任理事)から報告、説明され、特に異議もなく了承されました。

また、その他の報告として、4月17日韓国ソウル市にて行われた韓国ゴルフ練習所連盟との「日韓ゴルフ練習場及び業務交流に関する合意書」についての報告と説明が、北岡副会長からなされました。

通常総会の後は、同じホテル内の「GINSEN」にて懇親会が行われ、冒頭の賛助会員企業のプレゼンテーションに始まり、ご来賓のPGA明神会長のご挨拶など、約2時間をお食事と会員同士の交流でお楽しみいただきました。また、翌日は男子プロトーナメント「長嶋茂雄INVITATIONセガサミーカップ」の会場となるザ・ノースカントリーゴルフクラブにての懇親ゴルフコンペも開催され、参加者46名で北海道のゴルフを堪能されました。来年度の総会は、仙台市での開催を予定しております。



各会員から県連そして全日本への一気通貫体制を目指しています。



各事業部/各種委員会

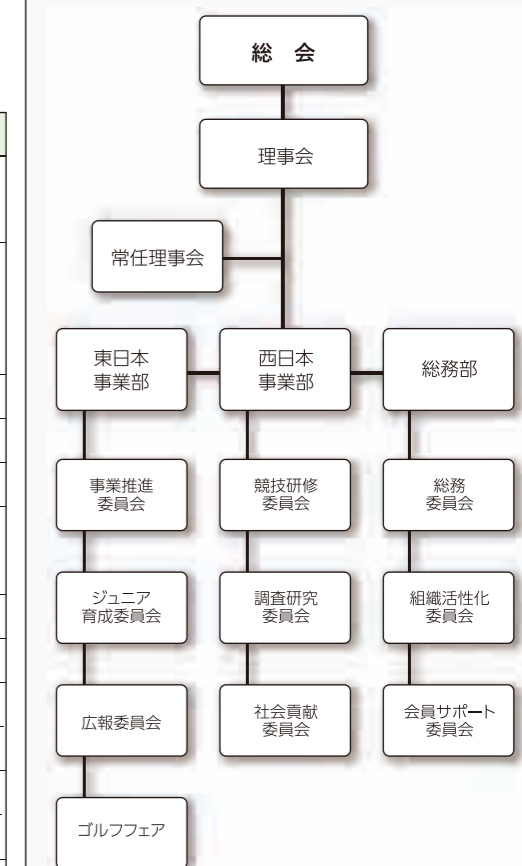
部	部長 (副部長)	委員会	委員長
東日本事業部	北岡 利昭 (加藤賢治)	■事業推進委員会 公2 資格認定事業 公3 セミナー事業	書間 泰久
		■ジュニア委員会 公4 ジュニア 検定事業	服部 朋春
		■広報委員会 公4 会報誌事業	板垣 庄治
		■ゴルフフェア委員会 公4 ゴルフ練習場関連コーナー開設	森川 幸三
西日本事業部	川崎 益彦 (橋本幸治)	■競技研修委員会 収1 選抜大会事業	吉田 智行
		■調査研究委員会 公1 調査安全管理事業 公5 苦情処理問合せ事業	橋本 幸治
		■社会貢献委員会 他3 社会貢献事業	川崎 益彦
総務部	太田 智也 (新井道夫)	■総務委員会 公6 関連団体交流事業	新井 道夫
		■組織活性化委員会 他2 助成事業	奥富 昭彦 (東日本) 川崎 益彦 (西日本)
		■会員サポート委員会 公6 関連団体交流事業	磯崎 博文 (東日本) 野原 和憲 (西日本)
事務局	新井道夫	収2 物品販売事業 収3 幹旋事業	

役員 2024年9月10日現在 理事22名・監事3名 順不同敬称略

役職	氏名	役職	氏名
会長	横山 雅也	理事	田近 秀樹
副会長	加藤 賢治	理事	森 智大
副会長	川崎 益彦	理事	宇田 雅史
副会長	太田 智也	理事	炭吉 成夫
副会長	北岡 利昭	理事	片山 博之
専務理事	新井 道夫	理事	佐川 八重子
常任理事	橋本 幸治	理事	明神 正嗣
理事	川上 登	理事	大石 順一
理事	吉原 弘真	理事	林 一郎
理事	奥富 昭彦	監事	鈴木 晴澄
理事	吉田 智行	監事	小林 廉造
理事	加藤 淳一	監事	井上 晴孝
理事	大友 富雄		

JGRA 公益社団法人 全日本ゴルフ練習場連盟

2024 組織図



JGRA ジュニア情報

ジュニアゴルファー育成セミナーレポート

～プロゴルフトーナメント最終日に
JGRAジュニアゴルファー検定会を開催～

一生懸命なジュニアの姿に みんなまんまるスマイルに!

ジュニアは日頃の練習の自信を胸に、それぞれ決めた検定ランクの目標へチャレンジした。5月はブリヂストン女子オープン、6月はニチレイレディスともに初開催。



「ブリヂストン女子オープン」<5月19日袖ヶ浦CC袖ヶ浦 関東主管>

男子の試合も行った難易度の高いコースでのプレーを終えたジュニアの顔は、達成感からか少したくましく見えた。背よりも高く深いバンカー、グリーンは球が速く転がる、深いラフ、おおよそ体験したことのない場面の数々に圧倒される。13名のジュニアはそれぞれの検定ランクに分かれプレーを行った。そこは数時間前にプロの選手がプレーしたコース。ディボットの無いフェアウェイの素晴らしい心地よい風が吹く。自分を応援してくれるフォローの風のような。3ホール目の検定会で保護者も我が子の自主性、自己判断へのがんばりを目に焼き付けたことでしょう。



「ニチレイレディス」<6月16日袖ヶ浦CC新袖 関東主管>

朝はプロと手をつないでの入場エスコートと直筆サインプレゼントにスタート特別観覧。憧れの選手をいざ目の前にすると言葉が出なくなる。いっぽう目のきらきら感が増し、手をつなぐと自然に笑顔になる。一般ギャラリーがぐるっと囲んだ1番ホールへ向かう12名はみんな素直な笑顔だ。さあ、午後は自分たちがプレーする番。小さなグリーンにピン位置が難しい。頑張っ練習してきた強い気持ちで負けそうな心を打ち破る。プレーを終えたジュニアが元気な声と笑顔で「ありがとうございました」と検定員へお礼を言いにくる場面に成長した姿をみた。



コロナ禍を経て2024年完全復活へ。

プロの試合直後のコースでプレーできるのは、JGRAジュニアゴルファー検定会だけ。

～ジュニア育成委員会から～ 『検定用問題集』と『ジュニア用教本(仮)』の製作始動!

『検定用問題集』と『ジュニア用教本(仮)』の製作に取り組んでおります。

長年にわたり、ジュニアと保護者、練習場事業者からも「教科書的なものはないか」というご質問・ご要望を全国から多く頂いておりました。これまで推薦図書としていた冊子(1999年発行)も既に廃版となっており、提供できない現況を憂う地域連盟のジュニア委員会と共に、どの様に対応するかを慎重に審議を重ねてまいりました。長らく時間がかかりましたが、教科書の必要性ありの総意のもと、この度、ようやく製作に向けて始動いたしました。内容は、「ジュニアが初めてゴルフと出会う練習場から育成につながる文化、習慣の醸成」と「スポーツとしてのゴルフマナー知識の個人差や親子関係の変化を補うもの」とするべきと考えております。



日本で唯一の公式ジュニア検定制度

ジュニアゴルファー検定会



ジュニアゴルファー 検定制度とは?



ジュニアゴルファー検定制度は、技術の向上、正しい競技規則の習得を目指すとともに、ゴルフを通じて社会性、自己啓発、自己管理能力を養い、生きる力を身に付けることを目指しています。

JGRAでは、より多くの子供たちがゴルフを始め、学び、楽しんでいくために実

施活動をしております。

検定は、検定基準に照らし、自分の実力に応じた実技テストとペーパーテストを行い全国の練習場にて開催致します。

また、当連盟主催の検定会は毎年プロゴルフトーナメント会場で実施し、多くのジュニアゴルファーが参加しています。

■検定基準

※ペーパーテストは「みんなでゴルフ」PGA発行・「JGAゴルフ規則」JGA発行から出題する。
※『実技テスト』『ペーパーテスト』それぞれ各自のレベルに合わせて受験することができます。(飛び級可能・実技、ペーパーの受験における相関はありません)

ランク	受検者目安	実技基準			ペーパーテスト基準
		認定級	テスト方法	基準	基準
A	スコアをつけてラウンド可能なジュニア	1級	通常ティーから	3オーバー以内でプレーできる	○ペーパーテストAを実施 「みんなでゴルフ」全般 「JGAゴルフ規則」第1・2章 ■エチケット・用語の定義 ■コースでのエチケット・マナー上級
		2級	(※1)	6オーバー以内でプレーできる	
		3級	3ホールラウンド	9オーバー以内でプレーできる	
B	ラウンドしたことがあるジュニア	4級	150ヤードより	15打以内でプレーできる	○ペーパーテストBを実施 「みんなでゴルフ」第7・8章 「JGAゴルフ規則」第1・2章 ■エチケット・用語の定義 ■ルール ■コースでのエチケット・マナー中級
		5級		18打以内でプレーできる	
		6級	3ホールラウンド	21打以内でプレーできる	
C	定期的に練習場で練習しているジュニア	7級	50ヤードより	15打以内でプレーできる	○ペーパーテストCを実施 「みんなでゴルフ」第1・3・7・8章 ■ゴルフコースについて ■コースでのエチケット・マナー初級 ■スコアカード
		8級		18打以内でプレーできる	
		9級	3ホールラウンド	21打以内でプレーできる	
D	練習場に行ったことがない、ほとんど経験したことがないジュニア	10級	練習場において		○ペーパーテストDを実施 「みんなでゴルフ」第1・3・6章 ■練習場での利用方法の理解 ■ゴルフクラブの名称
		11級	ショット(使用クラブに応じた弾道で正確に打てるか)		
		12級	パッティング(5mの距離から半径1mの枠内に入れる)		

■実技Dランク 実技基準詳細

判定基準は、部門いずれをも満たすものを認定級とする

認定級	パッティング	アプローチ	アイアン	ドライバー
10級	6/10 球	3/5 球	3/5 球	3/5 球
11級	4/10 球	2/5 球	2/5 球	2/5 球
12級	2/10 球	1/5 球	1/5 球	1/5 球

<注意事項>

- (※1) Aランクの実技テスト方法のホール設定は、以下の通りとする。「370Y以上・パー5」「200Y～以上370Y未満・パー4」「200Y未満・パー3」
- (※2) 実技ランクとペーパーテストランクは、それぞれ独立したものであり、飛び級受験は可能である。ただし、正しい理解のもと、受験ランク相当の学科実践、合格を得るためには、双方受験が望ましい。
- (※3) ジュニアの行動によるエチケット・マナー違反は、ランク習得度に照らし、厳正に対応をいたします。

検定会を始めたい方へ……

まずは、お気軽にご相談ください。

公益社団法人 全日本ゴルフ練習場連盟

事務局 : 03-5772-3821

※検定員認定講習会はご希望に合わせて講習をオンラインでできます。



＜全体総括＞2023年度は、期初より多くのご入会をいただき、連盟正会員数も500場を数える組織となりました。また、公益財団法人日本ゴルフ協会（JGA）との連携を深め、「Women's Golf Day」「ゴルフと健康」などのイベントにも協力し、ゴルフ振興のための共同歩調を継続出来る関係が強まりました。そして、連盟独自の展開としての「ゴルフ練習場の日」全国キャンペーンも2回目を迎えるなど、組織として新たなステージに入った一年でした。一方で、コロナ禍を転機に、都市部を中心に注目され始めたインドア練習場施設の新規出店も目立つ一年でした。その成長と同時に、弾道測定器などの進化やインスタグラム、YouTubeに代表されるSNSによるゴルフ情報発信も定番化し、新しい顧客層へのアプローチのヒントを示唆してくれました。ここ数年を振り返っても、業界を取り巻く環境変化が非常に早く、多様化するニーズに対し、如何に連盟として対応していくかが重要と痛感する一年でもありました。

【会員数の推移】2023年度は、期中の入会数は、正会員62場、賛助会員6社。退会数は、正会員1場、賛助会員2社となり、2023年度期末時点（2024年3月31日現在）では、正会員501場、賛助会員47社となりました。2022年度期末時点に対し、合計で正会員数は61場増、賛助会員は4社増となりました。

＜ブロック別会員在籍数＞

地域ブロック	2023年度内入退会		2024年3月31日
	入会	退会	
北海道	25場	4場	29場
東北	23場	4場	27場
関東	255場	49場	304場
中部	27場	2場	29場
関西	83場	2場	85場
中四国	7場	0場	7場
九州	19場	1場	20場
正会員合計	439場	62場	501場
賛助会員	43社	6社	2社
協力企業	4社	0社	4社

【主たる事務所及び職員】の構成

■主たる事務所
 東京都渋谷区神宮前1-17-5 原宿シュロス303号

■職員（事務局）の構成
 職員数/合計3名（常勤2名、非常勤1名）

【公益目的事業1】ゴルフ事業に関する調査および研究

1.ゴルフ事業（練習場）に関わる実態調査及び研究

(1) ゴルフ関連団体と連携・情報を共有し、全国のゴルフ練習場の施設数を調査した。2023年10月調査結果はアウトドア施設2,322施設（昨対比+42）、インドア施設1,518施設（昨対比+196）全施設合計3,840施設（昨対比+154）となった。（詳細は、JGRAホームページ「全国ゴルフ練習場施設数調査」参照）(2) 特定のゴルフ事業者を指定して地域別の入場者数と売り上げを調査した。関東地37～41施設、関西地区35施設より入場者数と売上を毎月報告いただき景況調査を把握。2023年度の売上の前年対比は、関東が平均で上期97%、下期95%、関西が上期91%、下期107%の結果となった。(3) ゴルフ事業に関わる施設の付帯設備やキャッシュレス決済の導入状況等の運営における実態を調査した。JGRANEWS No.53に同封し施設アンケートに回答した53施設の結果、分層対策は「全席禁煙」が86%、「全席喫煙可」は6%、「喫煙ブース有り」は61%の施設に設置のみとの回答がありました。また、「キャッシュレス決済」については46%が導入済み（その内クレジットカード44%、スマホ決済42%）、「今後導入を検討」が23%と回答となった。ネット支柱の点検状況については、「必要に応じて点検・塗装を実施している」が56%、「定期的に点検・塗装を行っている」が30%と合計で86%が点検・塗装を実施していることが分かった。（詳細はJGRAホームページ「2023年度ゴルフ練習場施設調査アンケート」参照）

2.安全管理に関する調査及び研究

(1) ゴルフ施設における安全管理の意識向上のためのグッズ作成(2) ゴルフ練習場向けの保険情報の紹介(3) ゴルフ練習場施設運営向けマニュアルの掲載

【公益目的事業2】ゴルフ事業に関する人材育成及び資格認定

ゴルフ練習場事業に関わるものが専門的な知識を得て、健全で適正な運営が行える人材育成の促進と指導体制の確立を目指すために講習会及び試験を実施した。名称/第4期「JGRAゴルフフレンジプロデューサー資格認定講座」開催期間/2023年5月1日～2023年8月31日 受講方法/ビデオオンライン（WEB配信）にて受講 受講者数/8名・認定者数/7名

【公益目的事業3】ゴルフ事業に関する研修会、セミナー等の開催

ゴルフ事業に携わる者の資質向上と発展を図ることを目的に様々な内容の研修会、セミナー等を実施した。

(1) JGRAゴルフ練習場ビジネスセミナーの実施
 名称/ゴルフ練習場ビジネスセミナー2024 開催日/2024年3月8日（金）15:30～17:30 会場/パシフィコ横浜及びオンライン配信
 内容/パネル・ディスカッション「ゴルフ練習場の未来を考える」石田純一さん、ゴルフスペシャルトークショー パネリスト:「～ゴルフ練習場が日本のゴルフを元気にする～」ゴルフの魅力～ゴルフに感謝、そして恩返し～」参加者/62名（会場:54名 WEB:8名）

(2) ジュニアゴルファー育成サポートセミナーの実施
 名称/ジュニアゴルファー育成サポートセミナー 開催日/2023年11月22日（水）13:30～16:30

会場/ワイム貸会議室高田馬場及びオンライン配信 第一部/「ジュニア期の育成:トクトレーナーの視点から」講師:斎藤大介（スポーツトレーナー）第二部/「やる気と自信を引き出す魔法の指導」講師:埼玉栄高校ゴルフ部 前監督 橋本賢一氏 参加者/69名（会場:19名 WEB:50名）

(3) ゴルフ練習場発展促進セミナー
 名称/ゴルフ練習場発展促進セミナー 開催日/2024年1月23日（金）13:30～15:30 会場/新御堂ゴルフセンター会議室/Zoom タイトル/「今から始める相続・事業承継対策」セミナー 第一部/「事業承継の基礎知識」講師:髙山財産ネットワークス:コンサルティング第一事業本部長:小野高義氏 第二部/「ゴルフ練習場の相続対策」(実例の紹介) 講師:(公社)全日本ゴルフ練習場連盟 副会長:川崎益彦氏 参加者/40名（会場:22名 WEB:18名）

【公益目的事業4】ゴルフ事業に関する普及、啓発及び検定

1.ジュニアゴルファー検定制度

(1) ジュニアゴルファー検定会
 各ブロック・関連団体・メーカーの協力を得てプロトーナメント会場等で検定会を開催。また公益財団法人ジュニアゴルファー育成財団より検定会事業の助成金の給付を受け、運営費や製作費に活用した。（登録練習場主催検定会開催総回数:89回、参加者総数:404名）

※「2024年度事業報告」の詳細はJGRAホームページ「情報開示」ページをご覧ください。

■＜当連盟主催ジュニアゴルファー検定会:11回開催 参加者数:138名＞

No	開催日	検定会名称	開催場所・方法	人数
1	2023年/4月1日	九州地区 第1回ジュニアゴルファー検定会	大岳ショートコース	13名
2	2023年/7月8日	中部地区 第1回ジュニアゴルファー検定会	笹戸カントリークラブ	13名
3	2023年/7月26日	九州地区 第2回ジュニアゴルファー検定会	大岳ショートコース	25名
4	2023年/7月31日	第81回ジュニアゴルファー検定会	戸塚カントリー倶楽部	10名
5	2023年/8月22日	第82回ジュニアゴルファー検定会	菟孫子ゴルフ倶楽部	13名
6	2023年/9月24日	第83回ジュニアゴルファー検定会	利府ゴルフ倶楽部	8名
7	2023年/11月18日	九州地区 第3回ジュニアゴルファー検定会	大岳ショートコース	10名
8	2023年/12月3日	中部地区 第2回ジュニアゴルファー検定会	笹戸カントリークラブ	4名
9	2023年/12月27日	第86回ジュニアゴルファー検定会	多摩川ゴルフ倶楽部	12名
10	2024年/1月28日	九州地区 第4回ジュニアゴルファー検定会	大岳ショートコース	9名
11	2024年/3月27日	第87回ジュニアゴルファー検定会	猿島カントリークラブ	12名
合 計				129名

■2023年度実技級及びペーパーテスト取得者数

実技級	級											ペーパーテスト				総計			
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	11級	12級	総計	A	B		C	D	
人数	13	13	8	28	23	17	39	35	12	45	37	15	285	人数	29	55	66	82	232

(2) 検定委員認定講習会・事業者認定会の開催

検定事業者となるための講習会として本制度の理念、全体像、オペレーションの仕組み・検定方法論などの講習を行った。本年度は下記検定員並びに準検定員、検定員事業者の方々らが認定された。（2023年度講習会開催総回数/4回 検定員認定数27名 準検定員0名 認定事業者5場）

■総数/認定事業者数92場/検定員数387名/準検定員数77名

■JGRAジュニアゴルファー検定員認定講習会・認定事業者認定会

No	開催日	会場	検定員	準検定員	認定事業者
1	2023年4月27日	WEB (Zoom)	7名	0名	1場
2	2023年7月26日	WEB (Zoom)	7名	0名	1場
2	2023年10月2日	WEB (Zoom)	7名	0名	1場
3	2024年2月14日	WEB (Zoom)	6名	0名	2場
2023年度/合 計			27名	0名	5場

ブロック・地区	認定事業者数	検定員数	準検定員数
北海道	10場	17名	0名
東北	7場	25名	0名
関東	52場	275名	74名
中部	2場	15名	1名
関西	17場	40名	2名
中四国	1場	3名	0名
九州	3場	12名	0名
その他	0場	0名	0名
合 計	92場	387名	77名

2.ジャパンゴルフフェア2024にゴルフ練習場関連コーナーを開設

第58回ジャパンゴルフフェア2024にてゴルフ練習場関連コーナーを設置し、一般来場者や業界関係者に向けてゴルフの新しい楽しみ方や製品情報等を紹介し、ゴルフの普及・活性化に努めた。又、JGRAブースでは一般来場者約671名に対して会報誌の配布、練習場及びゴルフスクールに関してのアンケート調査も実施した
 開催日/2024年3月8日（金）・9日（土）・10日（日）
 会場/パシフィコ横浜 全体来場者数/40,125人（2023年前比114.5%、5,092人増）ビジネス関係者来場者数/28,821人 報道関係者来場者数:525人 ゴルフ練習場関連コーナー/出展企業数 15社

3.ジュニアゴルファー登録制度の普及

各ブロック協力のもとジュニアゴルファー登録制度の普及、整備、充実を図った

4.会報誌「JGRA NEWS」の発行

独立行政法人日本スポーツ振興センターからスポーツ情報の提供活動の一環として会報誌「JGRA NEWS No53/54」の制作費の一部を独立行政法人日本スポーツ振興センターによるスポーツ振興奨励助成金を活用して事業を行った。全国ゴルフ練習場（非会員含む）、ゴルフスクール、ゴルフ関連会社等に発送し、また、ジャパンゴルフフェアでは一般来場を対象に幅広く配布することで練習場の最新情報及び当連盟活動の周知を行うことができた。会報誌「JGRANEWS」は誰でも閲覧できるようホームページに掲載した。

【公益目的事業5】ゴルフ事業に関する苦情処理及びお問合せ等

JGRA苦情電話相談センター及びHPよりのお問合せの運営。ゴルフ練習場とその周辺で発生する諸問題、消費者からの問い合わせ、苦情等の対応を運営した。2023年度は、全38件（昨年対比+2件）が全てJGRAに対するお問い合わせで、練習場を特定した苦情と判断される案件はなかった。すべて担当となる理事に確認を取り回答を行った。

【公益目的事業6】ゴルフ事業に関する内外関係機関等との交流及び協力

ゴルフ関連団体やゴルフ関連会社と振興・普及を主な目的とした様々な交流、協力を行った。また地域のゴルフ普及、振興活動の支援・後援等を行い広く社会的なスポーツ振興に貢献した。

1.日本ゴルフサミット会議 2.JGAゴルフ振興推進本部推進会議 3.ゴルフ市場活性化委員会（GMAC） 4.「ゴルフ練習場の日」キャンペーンの後援 5.ゴルフ関連団体との連携 6.一般社団法人日本ゴルフ用品協会主催行事を後援協力 7.関連団体の各種競技・イベント後援・協力

【収益事業1】競技会事業

1.競技会の開催

大会名/第67回全日本ゴルフ練習場連盟 研修会会員選抜大会
 開催日/2023年3月24日（金） 場所/小野東洋ゴルフ倶楽部
 協賛/株式会社ダンロップスポーツマーケティング・ブリヂストンスポーツセールス
 ジャパン株式会社 参加人数/92名
 成績/優勝 榎本 剛志、準優勝 勝 昭範、3位 中尾 亮太

2.地域研修会 会員数状況【2024年3月31日現在】

ブロック・地区	認定事業者数	検定員数
北海道ゴルフ練習場連盟	15名	承 認
東北ゴルフ練習場連盟	43名	承 認
関東ゴルフ練習場連盟	389名	承 認
※中部ゴルフ練習場連盟	未承認	66名
関西ゴルフ練習場連盟	承 認	137名
中四国ゴルフ練習場連盟	承 認	21名
九州ゴルフ練習場連盟	承 認	24名
合 計		695名

【収益事業2】物品販売事業1.ゴルフ関連団体の斡旋事業を実施 2.JGRAオリジナルグッズを販売【収益事業3】斡旋事業 1.ゴルフ練習場向けの保険情報の紹介 2.代行発送事業の実施【その他事業1】表彰事業 ゴルフ練習場業界に携わる皆様より、日頃業務をやる中で発見した「アイデア」や「工夫」、「発想」を広く公募。合計19件の応募をいただき、審査の結果を表彰した。【その他事業2】助成事業 地域のゴルフ練習場の活性化に対して、申請のあった活動について必要資金の全部又は一部を助成した。【その他事業3】社会貢献事業1.ゴルフフェア古着回収の推進 2.令和6年能登半島地震義援金を日本赤十字社へ寄付 2022年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。



北海道ブロック

- ブロック長/川上 登
- 事務局長/宮崎 穂征
- 正会員数/28場 □ 賛助会員/0社
- 研修会会員数/15名
- ホームページアドレス/http://www.jgra-h.com/
- メールアドレス/info@new-makomakai.com

□ 所在地 / 〒005-0803 北海道札幌市南区川沿3条1丁目1-107 ニュー真駒内ゴルフセンター内 ☎ 011-571-1111



中部ブロック

- ブロック長/太田 智也
- 事務局長/渡部 光生
- 正会員数/99場 □ 賛助会員/22社
- 研修会会員数/66名
- ホームページアドレス/http://cgra.jp
- メールアドレス/cgra@road.ocn.ne.jp

□ 所在地 / 〒453-0015 愛知県名古屋市中村区椿町20-15 名古屋国鉄会館4階 ☎ 052-452-8401



東北ブロック

- ブロック長/大友 富雄
- 事務局長/小林 隆人
- 正会員数/30場 □ 賛助会員/0社
- 研修会会員数/43名
- ホームページアドレス/http://www.tgra.jp/
- メールアドレス/info@tgra.jp

□ 所在地 / 〒981-1236 宮城県名取市愛島小島鳥島東324 名取ゴルフガーデン内 ☎ 022-384-1131



中四国ブロック

- ブロック長/森 智大
- 事務局長/森 麻実
- 正会員数/7場 □ 賛助会員/0社
- 研修会会員数/21名
- ホームページアドレス/制作中
- メールアドレス/seishun@arrow.ocn.ne.jp

□ 所在地 / 〒760-0002 香川県高松市茜町27番29号 高松青春ゴルフセンター内 ☎ 087-861-0734



関東ブロック

- ブロック長/横山 雅也
- 事務局長/石井 満
- 正会員数/324場 □ 賛助会員/44社
- 研修会会員数/389名
- ホームページアドレス/http://www.jgra-k.com
- メールアドレス/contact@kgra.jp

□ 所在地 / 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-17-5 原宿シュロス303号 ☎ 03-5772-3825



九州ブロック

- ブロック長/吉原 弘真
- 事務局長/伊藤 嘉希
- 正会員数/21場 □ 賛助会員/0社
- 研修会会員数/24名
- ホームページアドレス/http://kgra.net
- メールアドレス/kgra@lep.bbq.jp

□ 所在地 / 〒816-0901 福岡県大野城市乙金東3丁目7-1 大野城スカイゴルフセンター内 ☎ 092-503-8080

本部事務局 〒150-0001

東京都渋谷区神宮前1-17-5

原宿シュロス303号 ☎03-5772-3821

ホームページアドレス http://www.jgra.or.jp/

メールアドレス info@jgra.or.jp

編集後記

今年も観測史上最も暑かった昨年の夏に匹敵する暑い夏になると言われ、TVには熱中症への対処が盛んに流れている。Yahoo天気予報の熱中症指数は「極めて危険」と表示。「いつからこんなに暑くなったのか?」「子供の頃の夏休みはこんなに暑かっただろうか?（もっとも子供時代に温度など気にしたこともなかったが...）」検索してみると平均気温は100年前から3.2度の上昇で、むしろ夏よりも冬の最低気温の上り幅が大きい。ただ1990年代ごろから7月～9月の30度超えの日数が徐々に増えているので、夏が長くなったと考える方が正しいかと。いずれにしても暑さはゴルフには大敵。暑い日が減ってほしい。（坂垣）



JGRA NEWS
 No.55
 会報誌

□発行所 公益社団法人 全日本ゴルフ練習場連盟

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-17-5 原宿シュロス303号

TEL.03-5772-3821 FAX.03-5772-3822

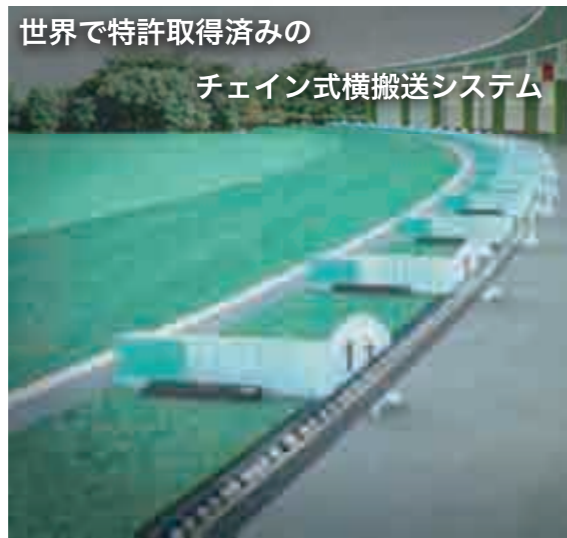
E-mail: info@jgra.or.jp URL: http://www.jgra.or.jp

□発行人 広報委員長/坂垣庄司

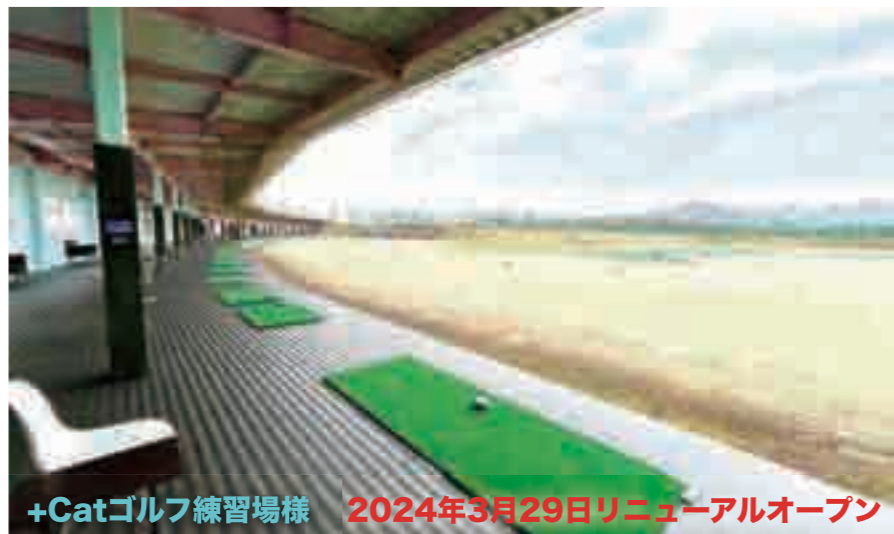
□編集者 公益社団法人 全日本ゴルフ練習場連盟 広報委員会 (北岡・坂垣・新井・上原・大畑・廣瀬)

□制作/デザイン・印刷 オフォス・サカイ

E-mail: info@saba237.com



世界で特許取得済みの
チェーン式横搬送システム



加藤農園ゴルフリンクス様
2024年3月22日 リニューアルオープン

喜和産業製ボール貸し出し機に完全対応

+Catゴルフ練習場様 2024年3月29日リニューアルオープン

練習場リニューアル! CADの実力!!



CADの練習場システムはメカもソフトも完全自社開発

安心のサポートをご提供!

- ・LINE-QRでのチャージ・チェックインまもなく誕生!
- ・球詰まりなし!
- ・チェーン式横コンベアによる圧倒的な送球力!
- ・壁際ボールタンク・ボールホースのない広い通路!
- ・豊富な分析機能!
- ・新型インドア用ティーアップシステム誕生!

日本シー・エー・ディー株式会社

〒161-0033 東京都新宿区下落合2丁目14番1号 CADビル
TEL: 03-3232-4111(代) FAX: 03-3565-3611
URL: <https://www.ncad.co.jp/> E-mail: golfsupport@ncad.co.jp
ゴルフ練習場行脚録: <https://ncad-golf.com/>

外付け決済ユニット

今お使いの貸出し機とジョイント
できて簡単に取付できます。

KIWA **Vender Unit**
ベンダーユニット KW-46-STQ



今お使いの貸出し機への
設置イメージ

キャッシュレス
決済比率 60%以上!!
※弊社顧客現金決済との比率
導入のタイミングは今です。

ご利用可能な決済一覧



KIWA のキャッシュレス ボール貸出し機



電子決済紹介動画

KIWA **Ball Vender**
ボールベンダー KW-900-ACQ



ゴルフ練習場の総合プランナー
キワ 喜和産業株式会社
<https://www.kiwasangyo.co.jp/>

■本社 〒105-0014 東京都港区芝2-16-1 河上ビル TEL: 03-6435-3972
■大阪 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-7-14 大京ビル TEL: 06-6303-7918
建設業(機械器具設置工事業) 東京都知事許可(般-4)第63942号